

2022年6月期 第2四半期
決算説明資料



株式会社And Doホールディングス【3457】

2022年2月10日

1. 会社概要

2. 2022年6月期 第2四半期連結決算概要

3. 2022年6月期 第2四半期セグメント別決算概要

4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

■ 会社名	株式会社And Doホールディングス
■ 代表	代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
■ 設立	2009年1月 (創業 1991年)
■ 資本金	33億7,433万円 (2021年6月期末時点)
■ 証券コード	3457
■ 上場取引所	東京証券取引所市場第一部
■ 売上	390.3億円 (2021年6月期 グループ連結)
■ 従業員数	838名 (2021年6月現在 グループ合計)
■ 本社	東京都千代田区丸の内1丁目8-1 丸の内トラストタワーN館17F
■ 本店	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670番地
■ 事業内容	フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業

【企業理念】

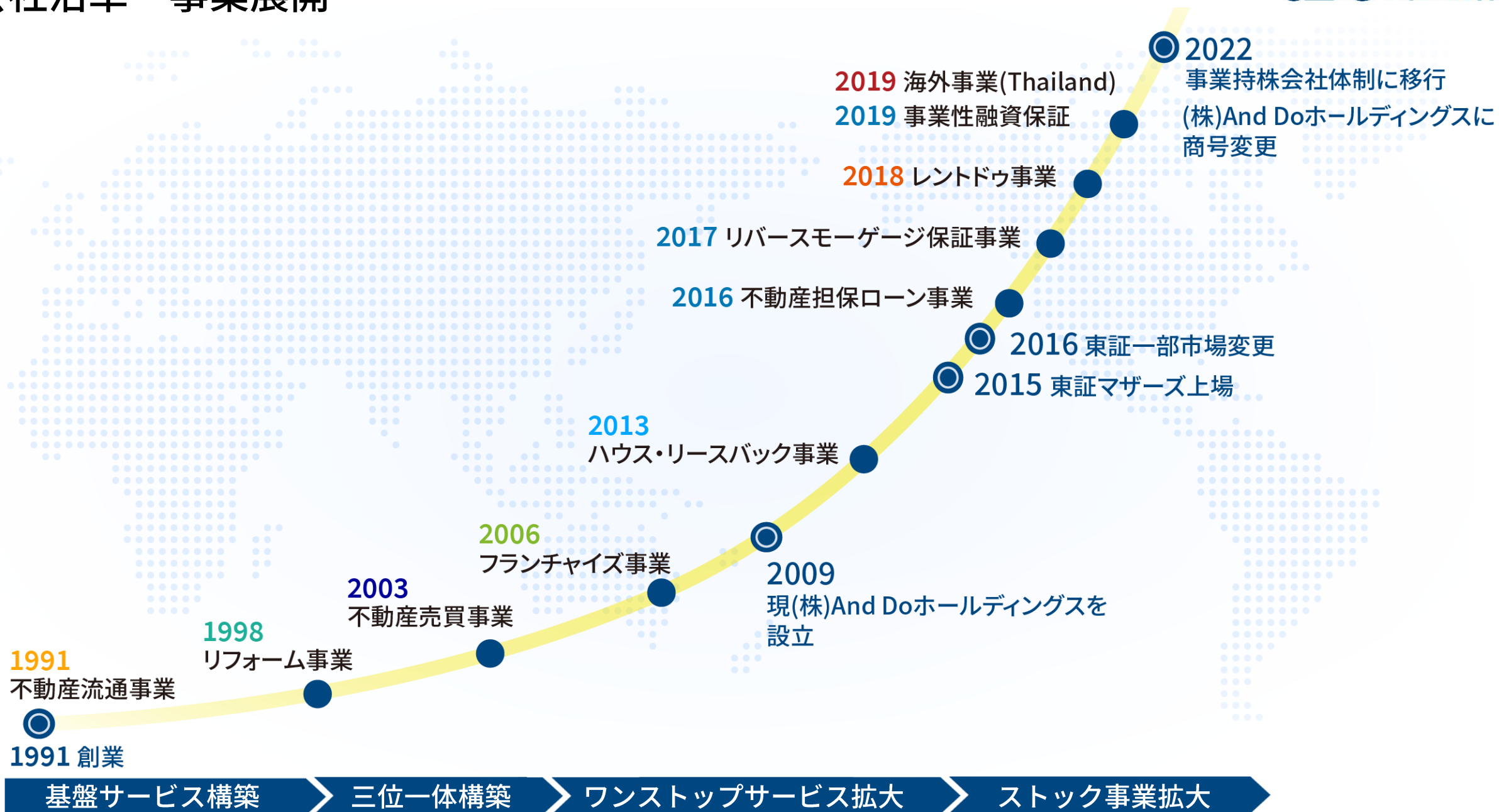
お客様の豊かさ、社員の豊かさ、社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。

【経営理念】

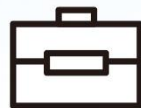
お客様から必要とされ、お客様へ尽くします。

【ハウストゥ ブランド理念】

私たちは日本の住宅市場をオープンにし、
お客様のライフステージに即した理想の住宅を積極的に
住み替えたりできる「住まいの新しい流通システム」を築きます。



地域密着の



販売力



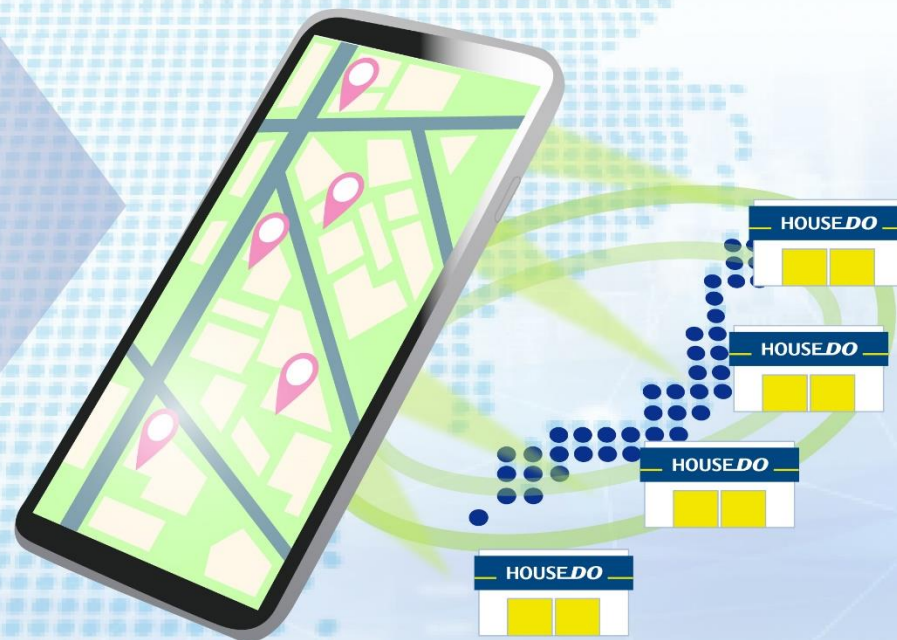
査定力



信用力



全国対応



『顧客接点』・『地域密着』のネットワークを構築

全てのエリアにハウズドゥ
お客様のより近くに、安心・便利な窓口を創り出す。



不動産情報公開

国内1,000店舗の
FCチェーンネットワーク
(2025年)



不動産ソリューション (高齢化社会に対応)

ハウス・リースバック
不動産担保ローン
リバースモーゲージ
リフォーム



HOUSEDO

売買仲介を起点に
住まいの関連サービスへつなげる

不動産流通事業

住まいのワンストップサービス

事業シナジーを強化



リフォーム事業

フランチャイズ事業
(アジアのFCチェーンネットワーク)



不動産売買事業



ハウス・リースバック



賃貸管理・仲介
(レントドゥ)



金融事業

- ・リバースモーゲージ保証
- ・不動産担保ローン
- ・事業性融資保証



海外事業

1. 会社概要
- 2. 2022年6月期 第2四半期連結決算概要**
3. 2022年6月期 第2四半期セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

2022年6月期 第2四半期業績進捗

第2四半期業績は引き続き売上高、利益とも過去最高を更新。
通期計画進捗も好調に推移

売上	営業利益	経常利益
222.9 億円	17.9 億円	17.4 億円

(前年同期比+19.0%) (前年同期比+44.4%) (前年同期比+46.9%)

※当期より、「収益認識に関する会計基準」を適用。詳細は決算短信P13をご参照ください。

フランチャイズ

累計加盟契約
692店舗

累計開店店舗
617店舗

ハウス・リースバック

保有件数/総額
448件 /57.8億円

仕入契約件数455件
(前年同期比+7.1%)

金融

リバースモーゲージ保証残高
71.7億円

不動産担保融資残高
58.3億円

トピックス

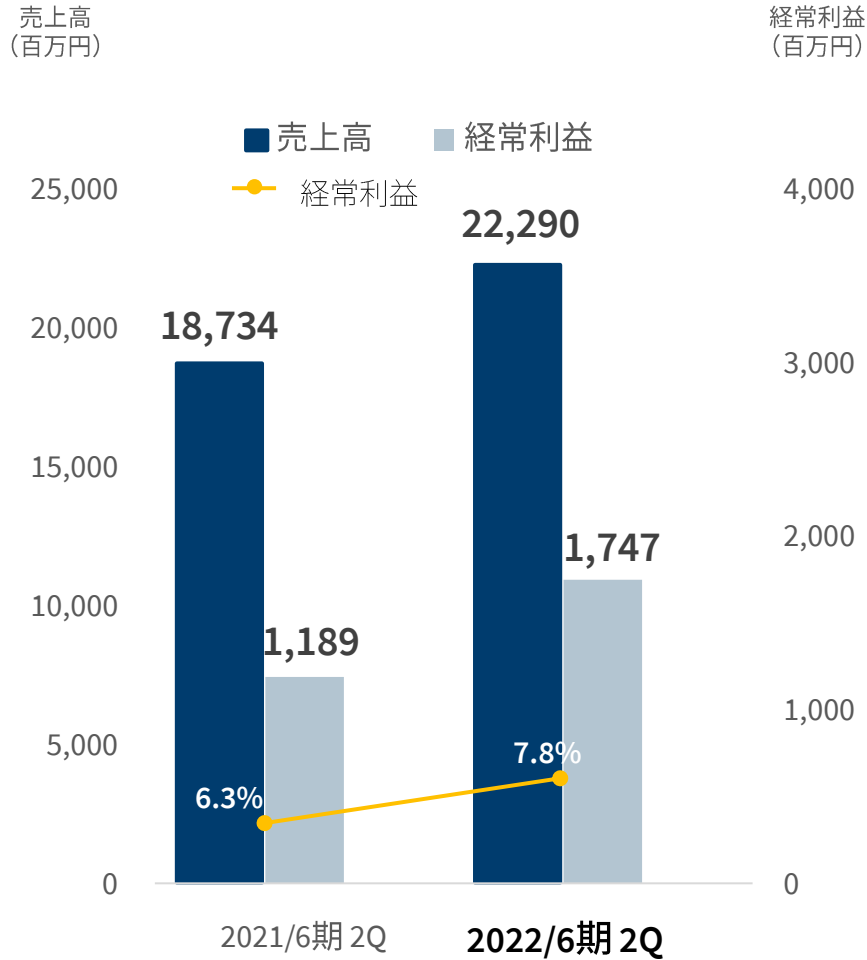
- リバースモーゲージ保証の保証残高が70億円を突破
- 2022年1月1日付で商号変更及び持株会社体制へ移行完了

配当

- 持続的な業容拡大と収益性向上による企業価値の向上
- 配当性向30%以上を基本水準

2022年6月期 第2四半期 連結損益計算書概要

単位（百万円）

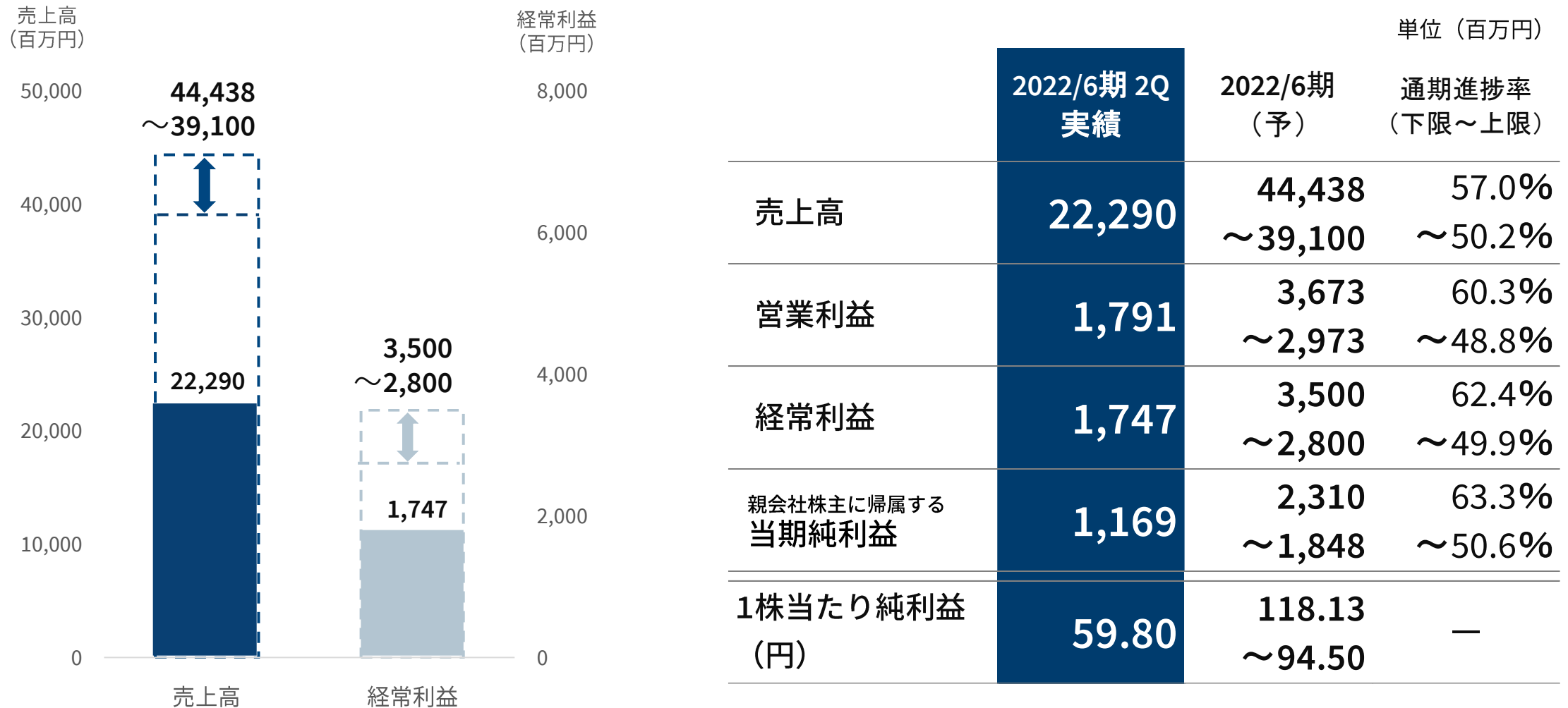


(前年同期比較)	2021/6期 2Q		2022/6期 2Q		前年同期 増減率
	売上 対比		売上 対比		
売上高	18,734	100.0%	22,290	100.0%	+ 19.0%
売上総利益	6,321	33.7%	7,174	32.2%	+ 13.5%
販売費及び 一般管理費	5,080	27.1%	5,382	24.1%	+ 6.0%
営業利益	1,241	6.6%	1,791	8.0%	+ 44.4%
営業外収益	132	0.7%	180	0.8%	+ 36.4%
営業外費用	183	1.0%	224	1.0%	+ 22.2%
経常利益	1,189	6.3%	1,747	7.8%	+ 46.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	784	4.2%	1,169	5.2%	+ 49.0%
EBITDA ※	1,490	8.0%	2,156	9.7%	+ 44.6%

■売上総利益：前年同期比 +13.5% 販管費：前年同期比 +6.0%

■成長強化石業の着実な伸長と不動産売買事業の躍進により、前年同期を大きく上回る業績

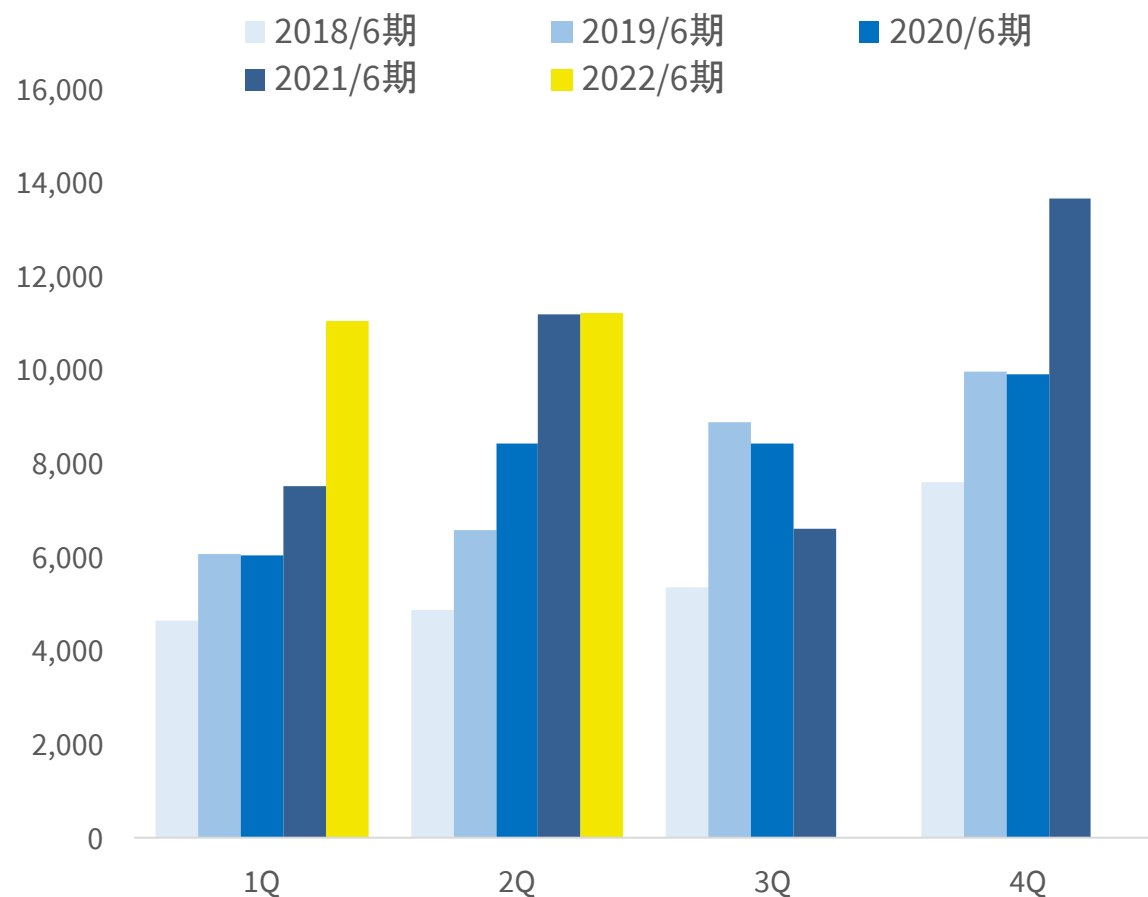
※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費



■ 売上高222.9億円 ➡進捗率50.2%～57.0% 経常利益 17.4億円 ➡同49.9%～62.4%
 ■ 通期計画に対しての進捗は、売上、利益とも 上限値に対して約50%の進捗

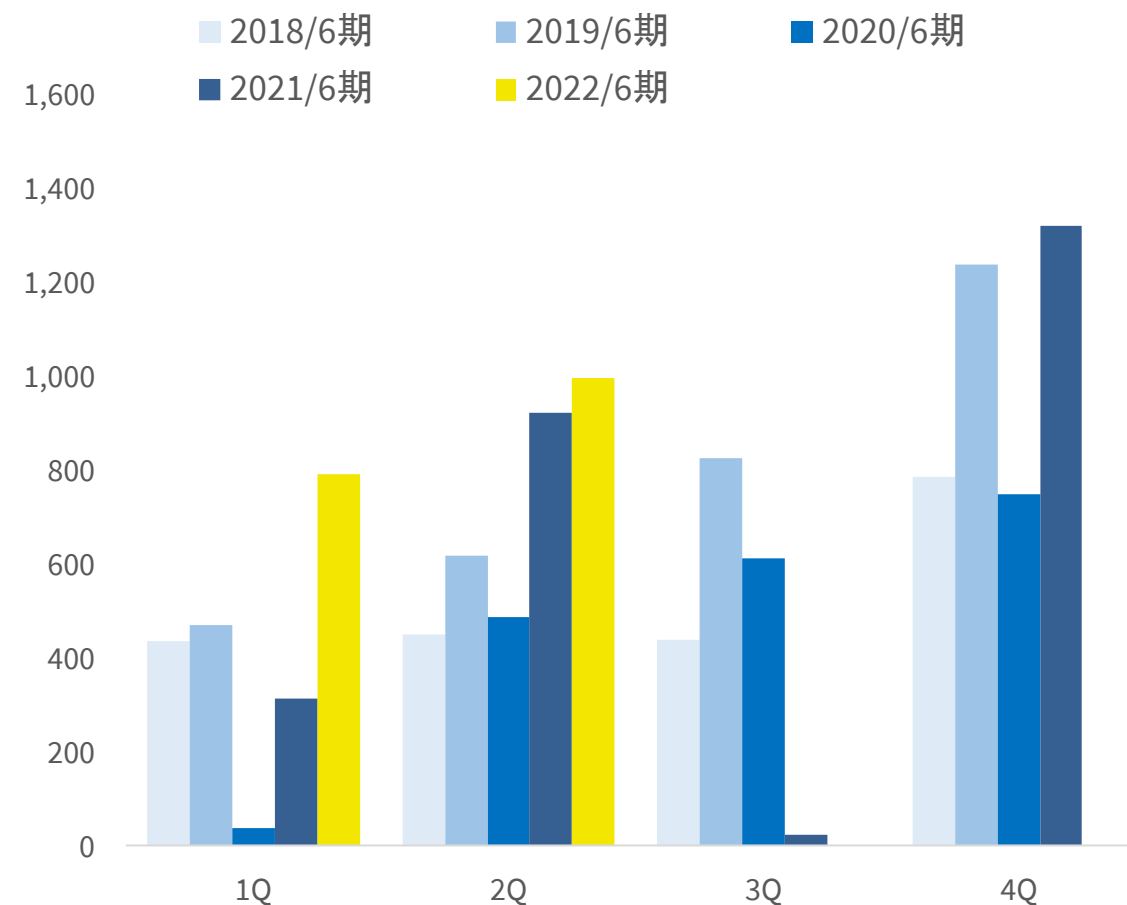
■ 四半期売上高推移

(百万円)



■ 四半期営業利益推移

(百万円)

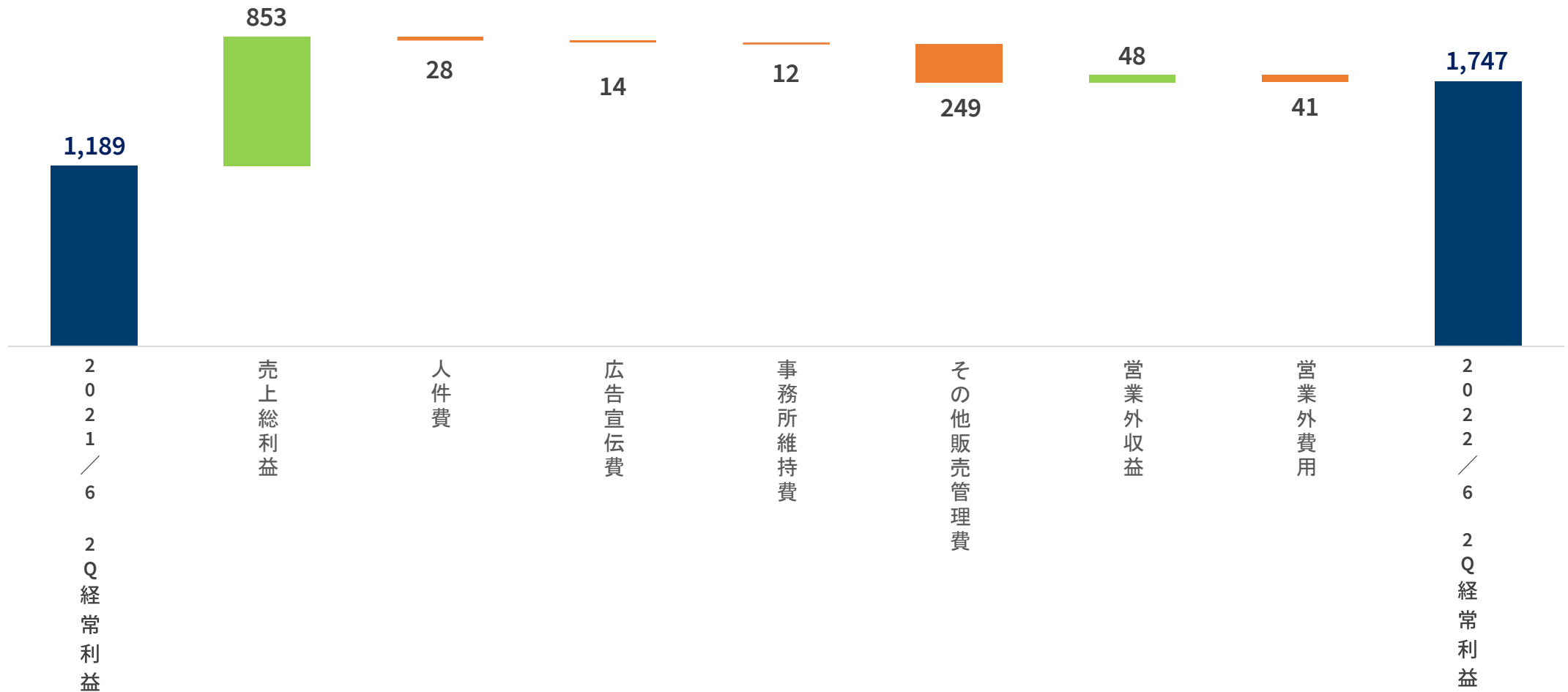


■ 第2四半期（10月～12月）売上高は前年同期同水準、売上総利益の増加により営業利益は伸長

経常利益増減要因内訳

■ 売上総利益（マージン）は前年同期比+ 13.5%

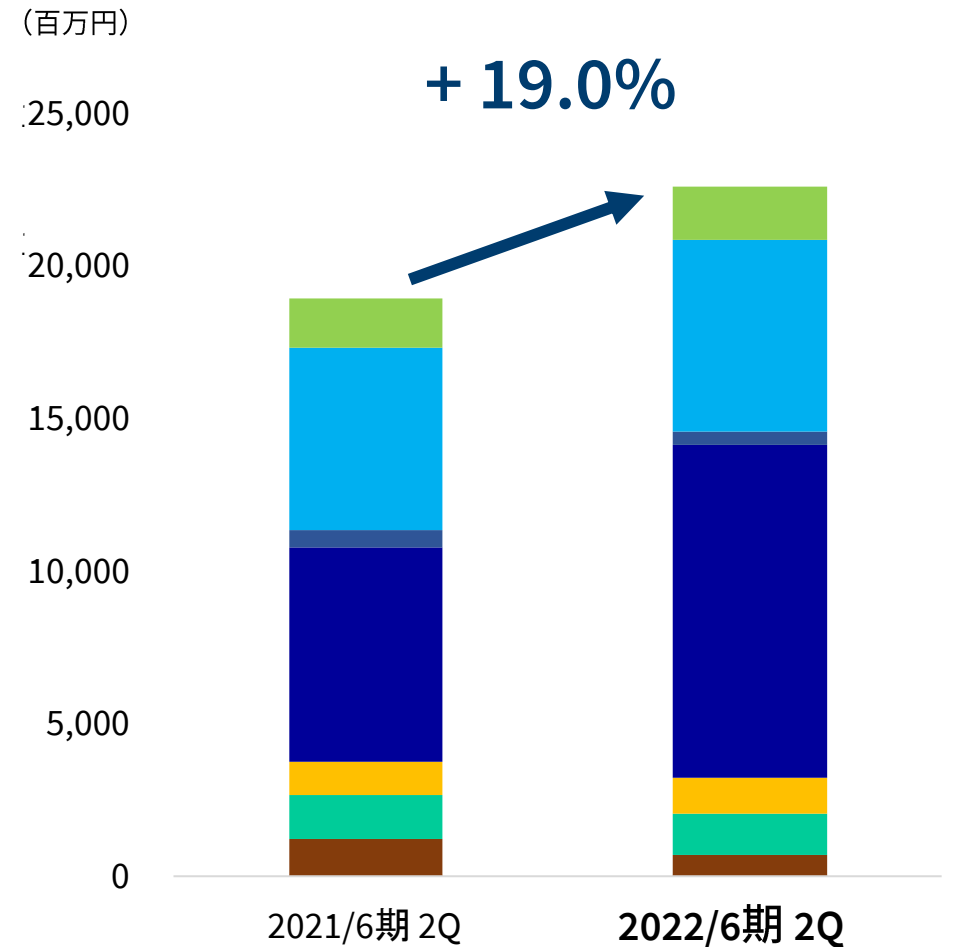
■ 成長強化事業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）へ経営資源を集中し積極投資、全体としては効率的に販管費をコントロール



セグメント別売上高

(前年同期比較)	単位（百万円）		対前年 増減率
	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	
フランチャイズ事業	1,631	1,741	+ 6.7%
ハウス・リースバック事業	5,986	6,302	+ 5.3%
金融事業	561	446	▲ 20.4%
不動産売買事業	7,033	10,934	+ 55.5%
不動産流通事業	1,103	1,154	+ 4.6%
リフォーム事業	1,399	1,352	▲ 3.3%
小山建設グループ	1,228	693	▲ 43.5%
その他	1	2	+ 95.3%
調整額	▲ 211	▲ 337	-
合計	18,734	22,290	+ 19.0%

セグメント別売上高推移グラフ



■ HLB9号ファンドへの譲渡41.8億円を実施 不動産売買事業も引き続き好調に推移

■ 金融事業は、不動産担保ローン残高縮小に伴い前年同期比減 リバースモーゲージ保証残高は順調に積み上げ

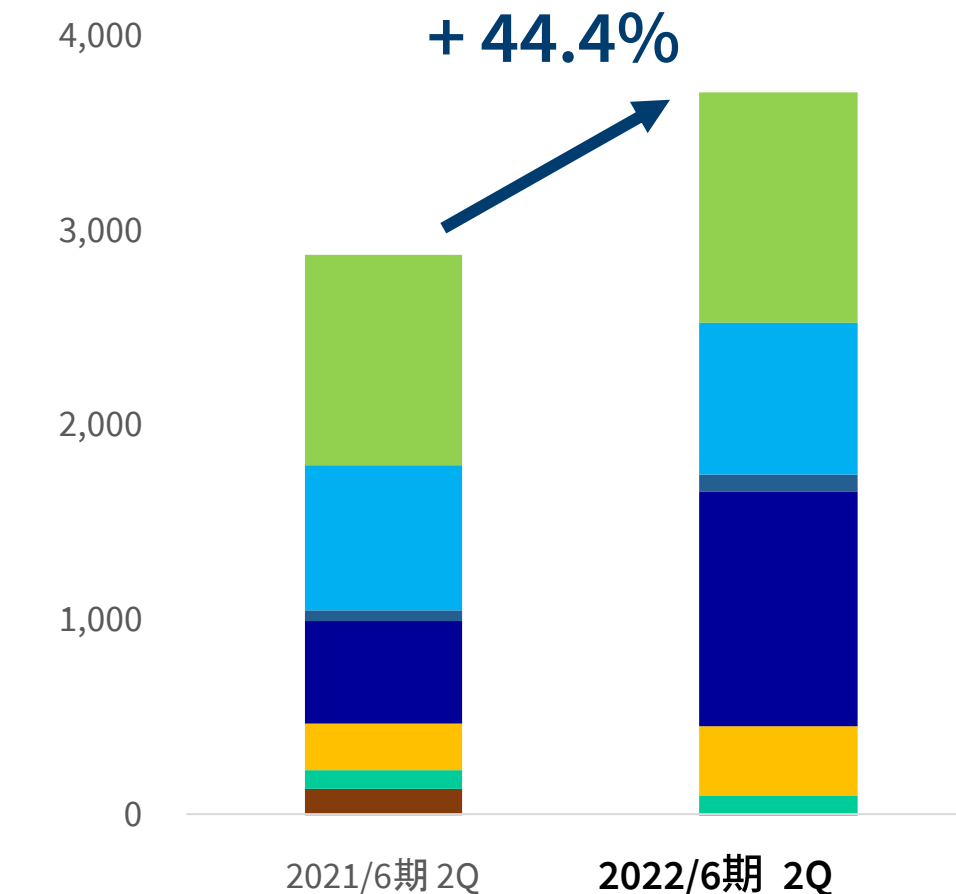
セグメント別利益

単位（百万円）

(前年同期比較)	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	対前年 増減率
フランチャイズ事業	1,081	1,183	+ 9.4%
ハウス・リースバック事業	749	784	+ 4.7%
金融事業	55	91	+ 66.5%
不動産売買事業	525	1,201	+ 128.7%
不動産流通事業	244	359	+ 46.8%
リフォーム事業	92	93	+ 0.1%
小山建設グループ	131	▲ 32	—
その他	▲ 7	▲ 8	—
調整額	▲ 1,631	▲ 1,880	—
合計	1,241	1,791	+ 44.4%

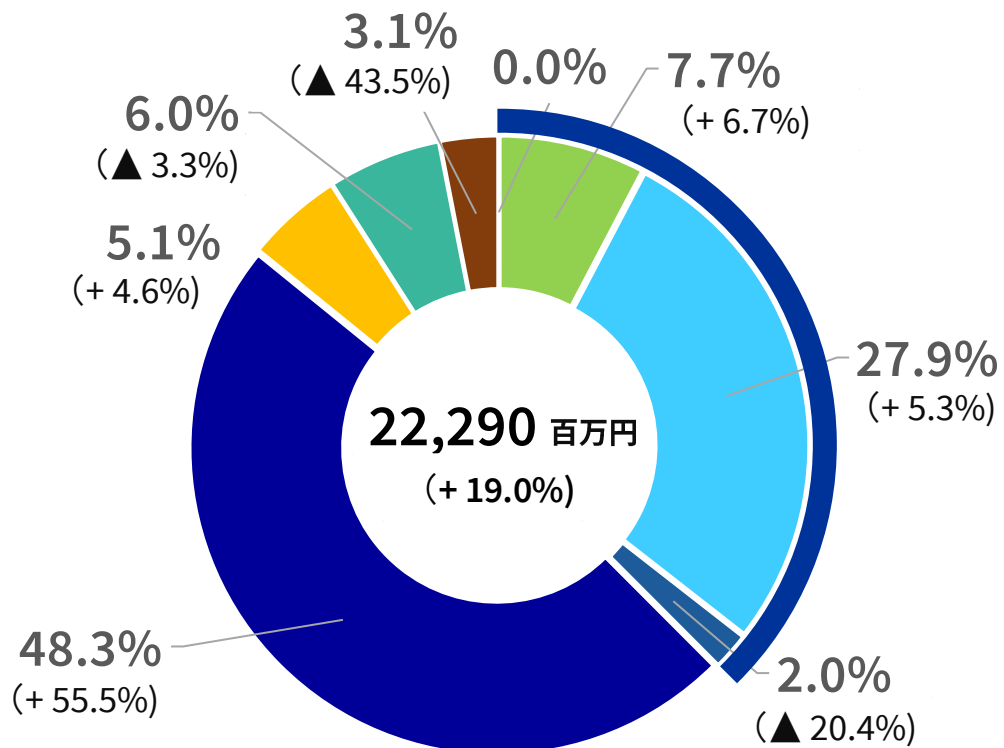
セグメント別利益推移グラフ

(百万円)



■成長強化事業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）に加え、不動産売買事業の伸長により利益押上げ
 ■高収益事業へ資本投下、さらなる業績向上を図る

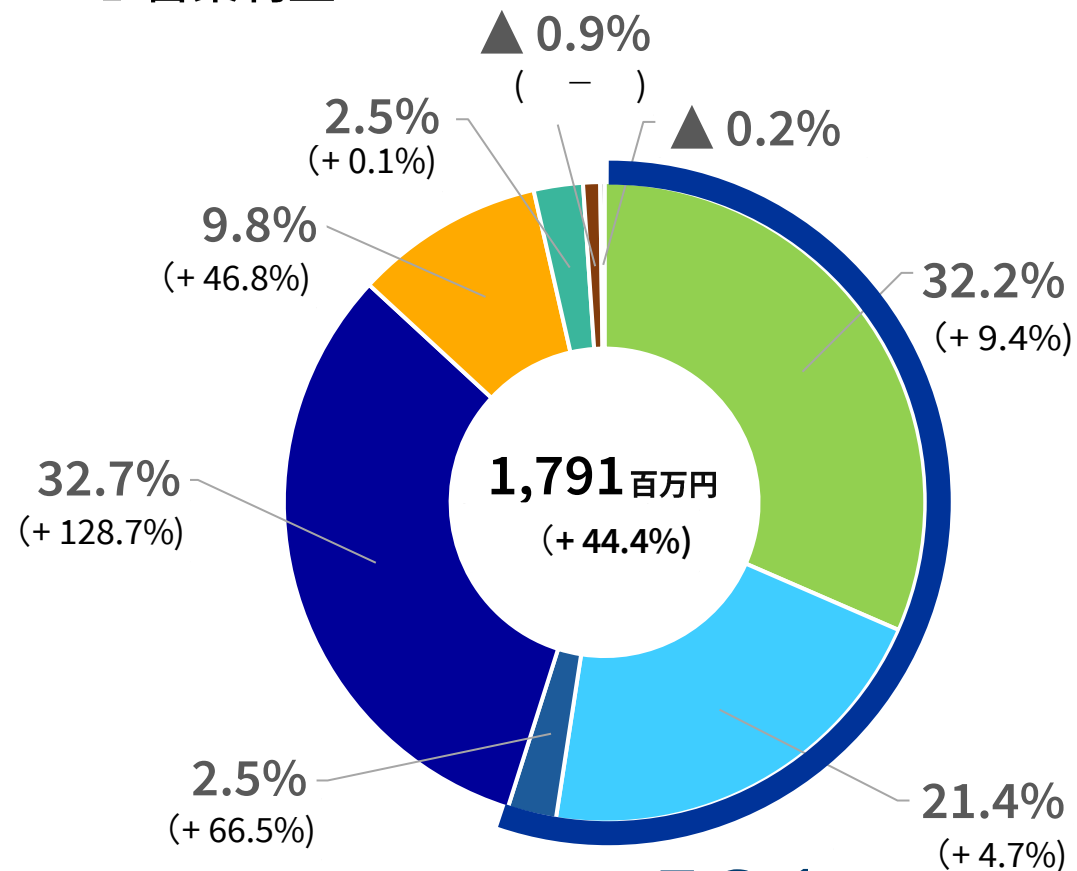
売上高



成長強化事業 **37.5%**
 (ストックをベース) (前年同期 43.2%)

- フランチャイズ事業
- ハウズ・リースバック事業
- 不動産流通事業
- リフォーム事業

営業利益



成長強化事業 **56.1%**
 (ストックをベース) (前年同期 65.7%)

() は前年同期比

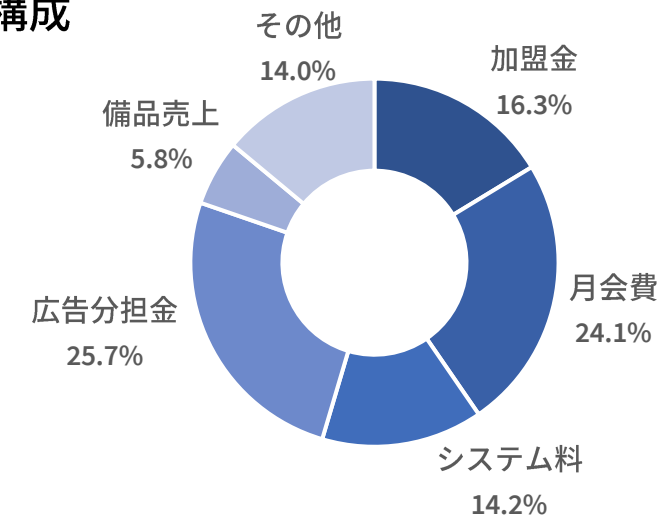
- 金融事業
- 不動産売買事業
- 小山建設グループ
- その他

1. 会社概要
2. 2022年6月期 第2四半期連結決算概要
- 3. 2022年6月期 第2四半期セグメント別決算概要**
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

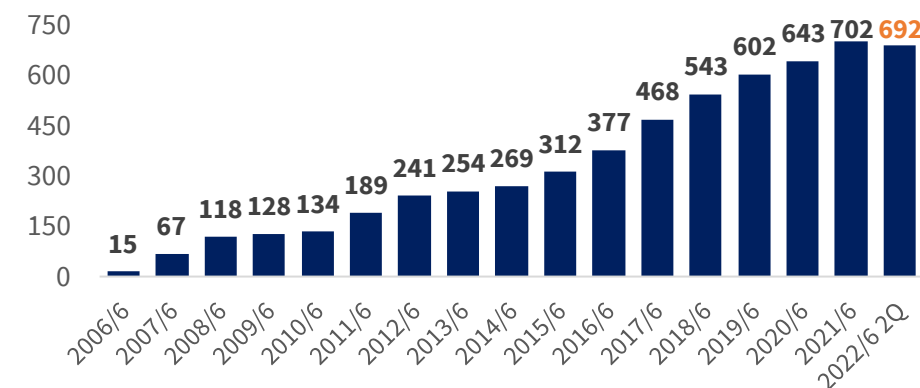
売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	1,631	1,741	3,563	48.9%
営業利益 (百万円)	1,081	1,183	2,408	49.1%
営業利益率 (%)	66.3%	68.0%	67.6%	—
累計加盟店舗数	674	692	767	—
累計開店店舗数	575	617	676	—

売上構成



加盟店舗数の推移



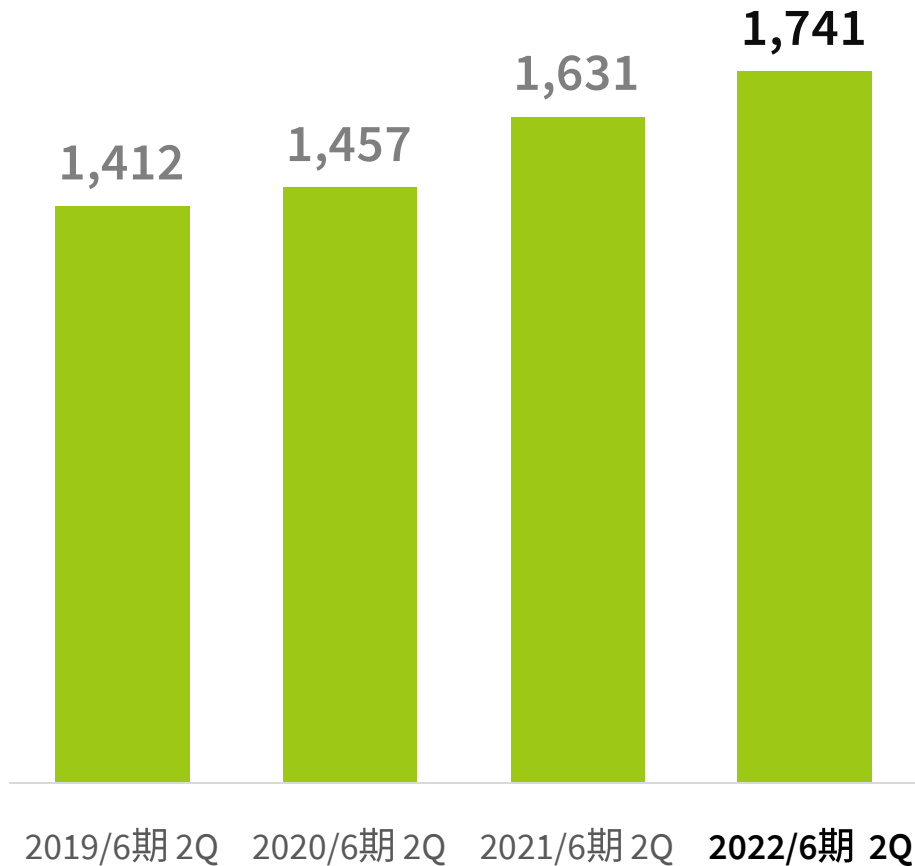
■新規加盟店舗数 53件 新規開店店舗数 56店舗 累計加盟店舗数は前期末から微減
 →複数店舗加盟企業や、コロナ禍で業績悪化した異業種母体企業が退会。短期的要因、下期以降回復の見込
 ■直営店の都内出店も活用し、首都圏の加盟開発のさらなる強化を図る

売上高推移

百万円

前年同期比

+ 6.7 %

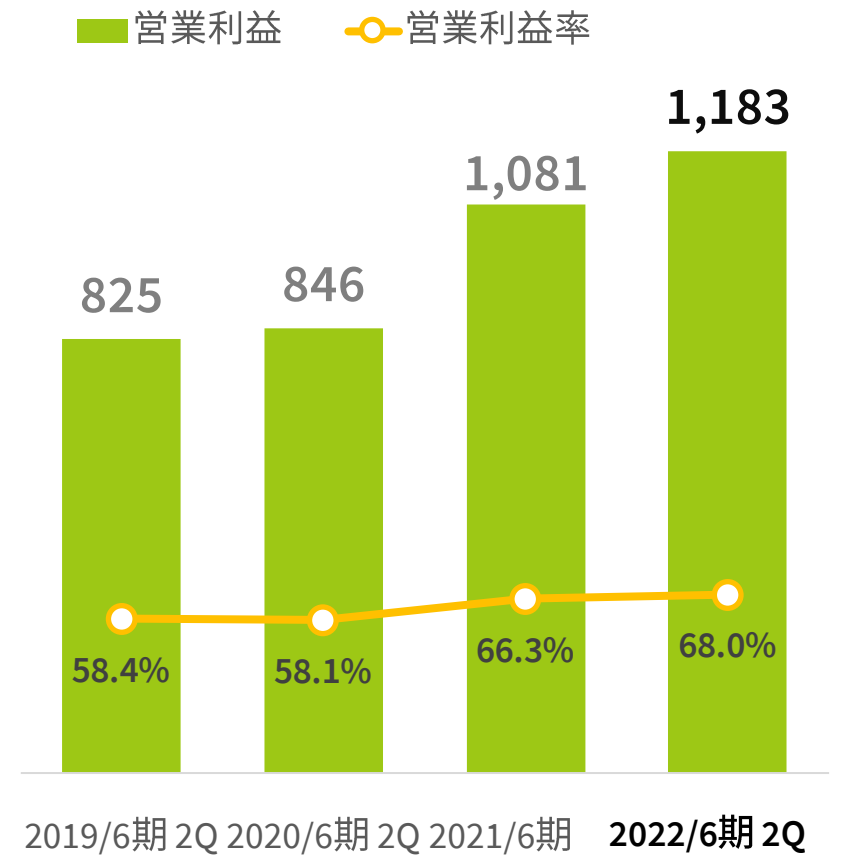


営業利益推移

百万円

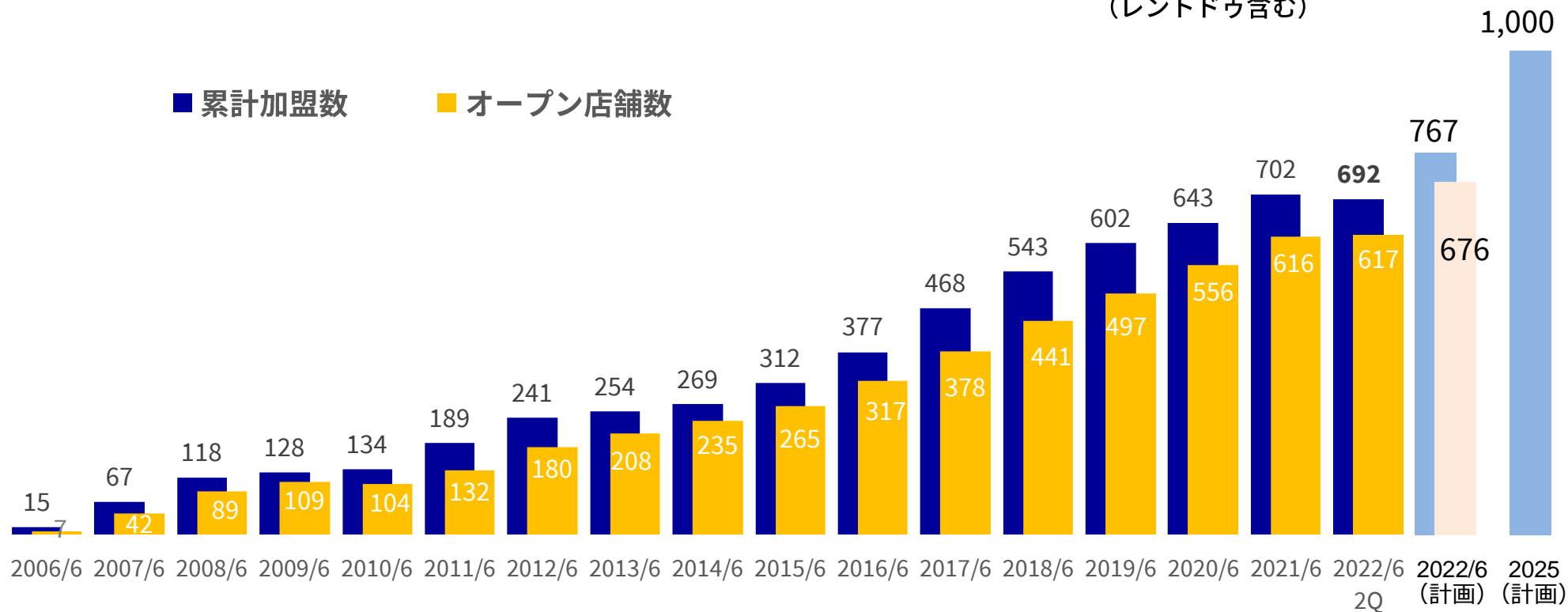
前年同期比

+ 9.4 %



2021年12月末日現在 **692店舗** ※内準備中 75店舗

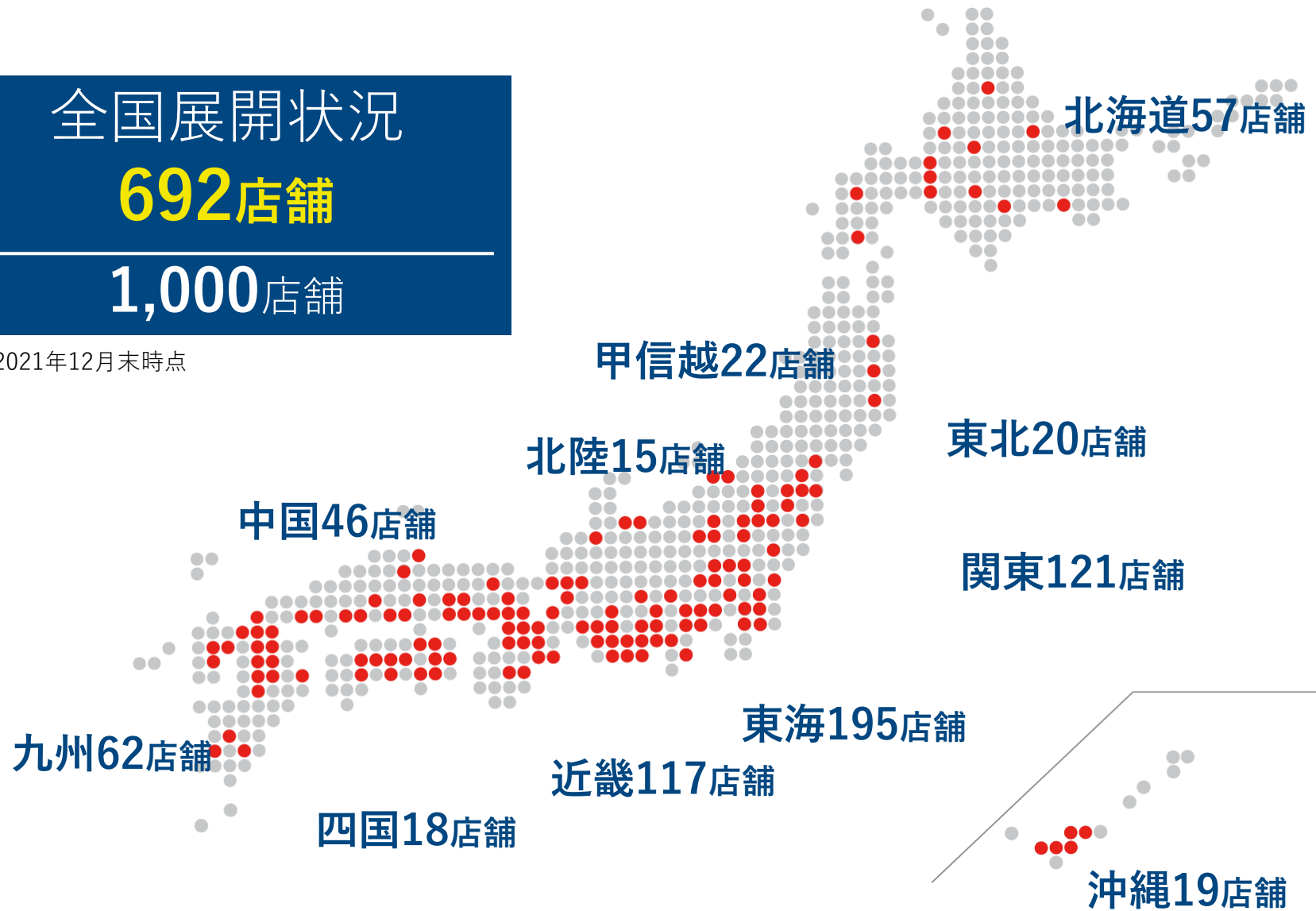
(レントドゥ含む)



	サテライト店	買取専門店	住宅情報モール	レントドゥ	合計
FC加盟店	543	91	2	26	662
直営店	11	14	3	2	30
合計	554	105	5	28	692

全国展開状況
692店舗
1,000店舗

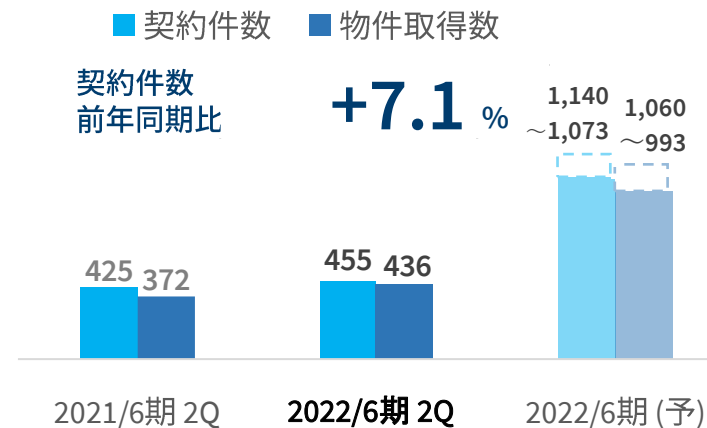
※2021年12月末時点



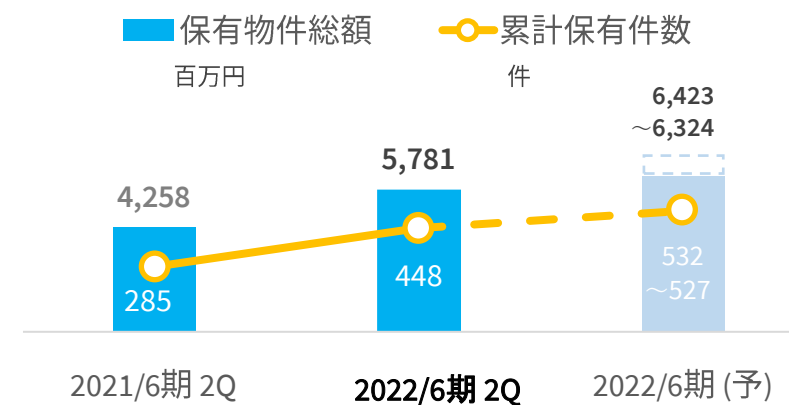
売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	5,986	6,302	17,228 ~15,942	39.5% ~36.6%
営業利益 (百万円)	749	784	2,335 ~2,100	37.4% ~33.6%
営業利益率 (%)	12.5%	12.4%	13.6% ~13.2%	—
契約件数	425	455	1,140 ~1,073	42.4% ~39.9%
物件取得数	372	436	1,060 ~993	43.9% ~41.1%
累計保有件数	285	448	532 ~527	—
保有物件総額 (百万円)	4,258	5,781	6,423 ~6,324	—

契約件数・物件取得数の推移



保有物件数・総額の推移



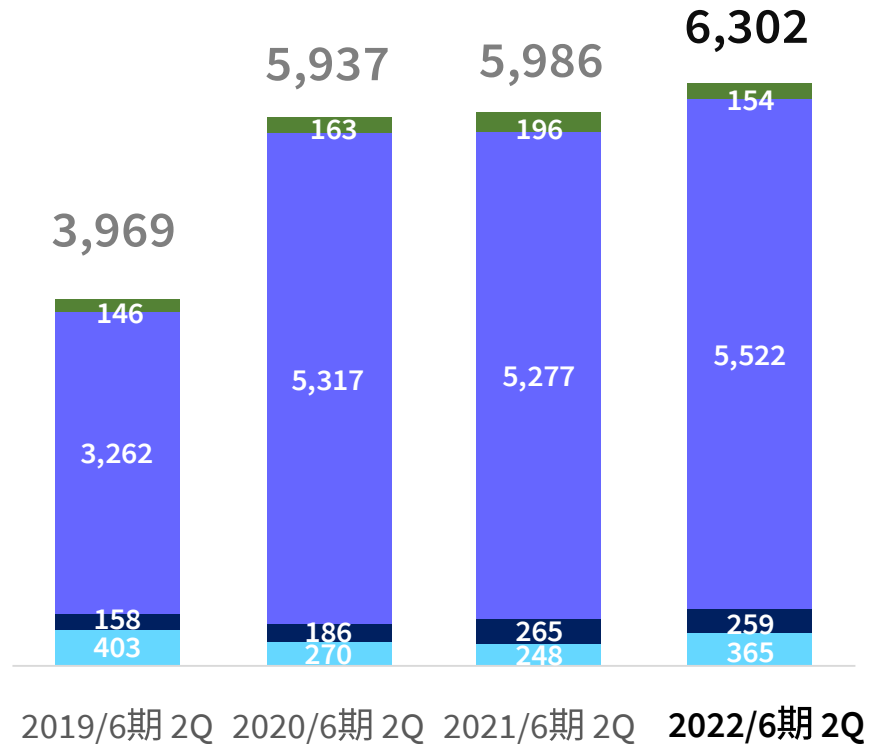
- 仕入契約件数455件 (75.8件/月・前年同期比+7.1%) HLBファンド9号へ41.8億円の譲渡を実施
- 引き続き取組拡大に注力 一層の集客拡大、対応人員強化を図る

売上高推移

百万円

前年同期比 **+ 5.3 %**

- 賃料収入等
- 手数料等
- 売却売上高
- 収益賃料等
- 収益売却

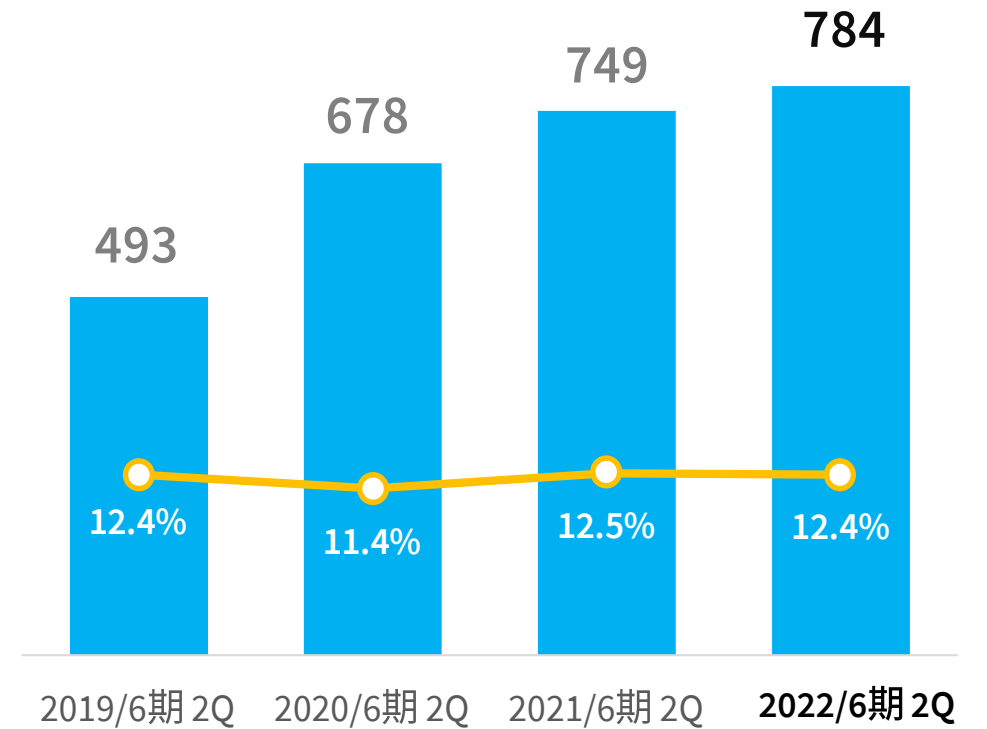


営業利益推移

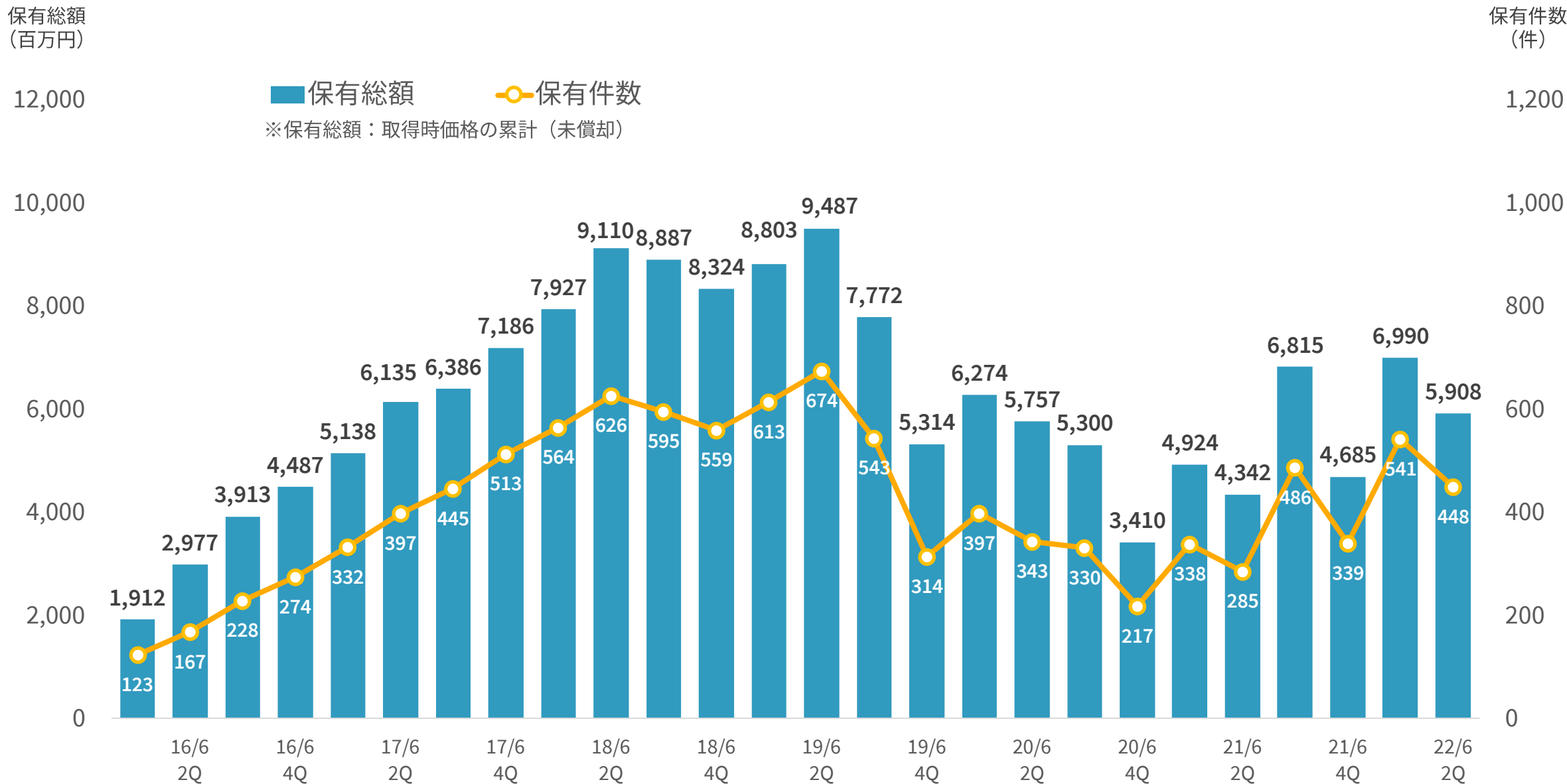
百万円

前年同期比 **+ 4.7 %**

- 営業利益
- 営業利益率



ハウス・リースバック事業 保有総額・保有件数

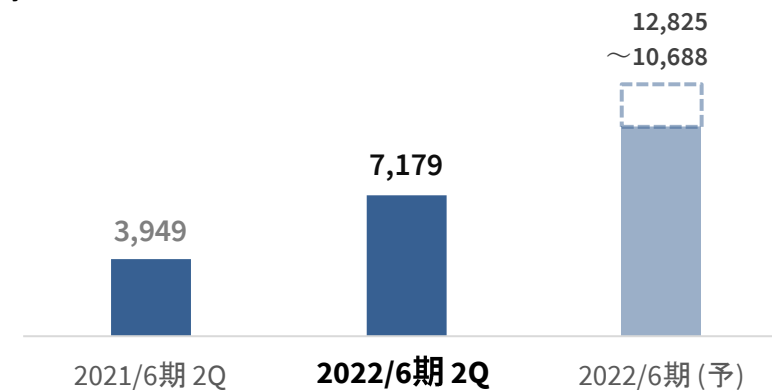


売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	561	446	1,012 ~952	46.9% ~44.1%
営業利益 (百万円)	55	91	160 ~100	91.9% ~57.4%
営業利益率 (%)	9.8%	20.6%	15.8% ~10.5%	—
リバースモーゲージ 新規保証件数	76	157	878 ~675	23.3% ~17.9%
リバースモーゲージ 保証残高 (百万円)	3,949	7,179	12,825 ~10,688	—
不動産担保融資 実行件数	78	62	180	34.4%
不動産担保融資 残高 (百万円)	10,398	5,834	7,600	—

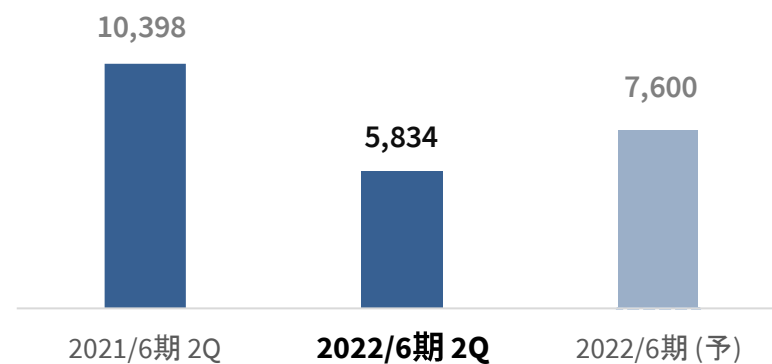
リバースモーゲージ保証残高の推移

百万円



不動産担保融資残高の推移

百万円



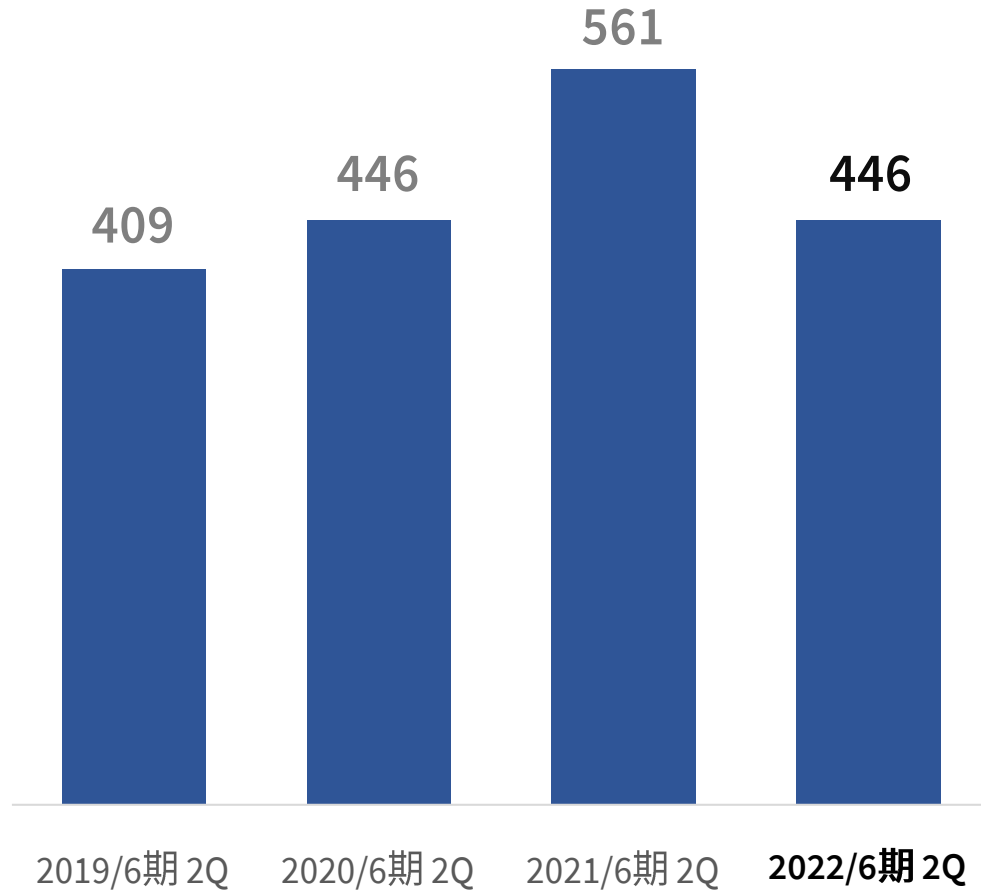
- リバースモーゲージ新規保証件数は前年同期比+106.6%、保証残高71.7億円
 - 不動産担保融資の縮小により減収も、収益性は向上
- 提携金融機関の開拓も順調に拡大

売上高推移

百万円

前年同相比

▲ 20.4 %

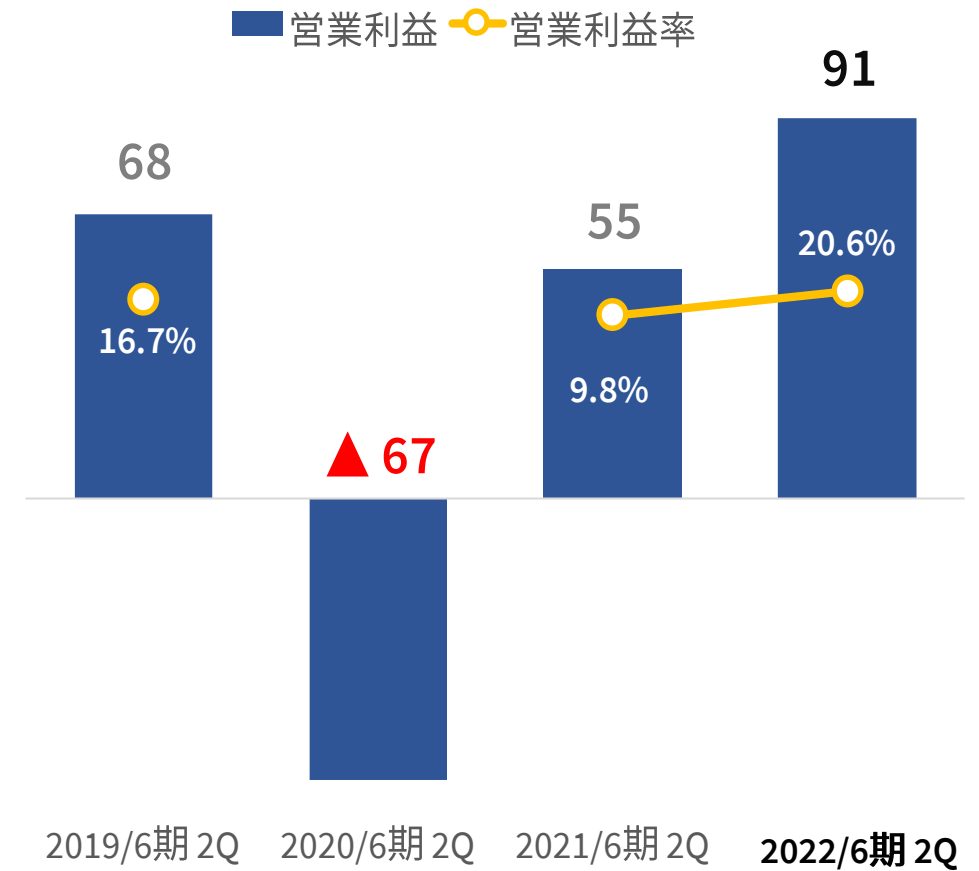


営業利益推移

百万円

前年同相比

+ 66.5 %

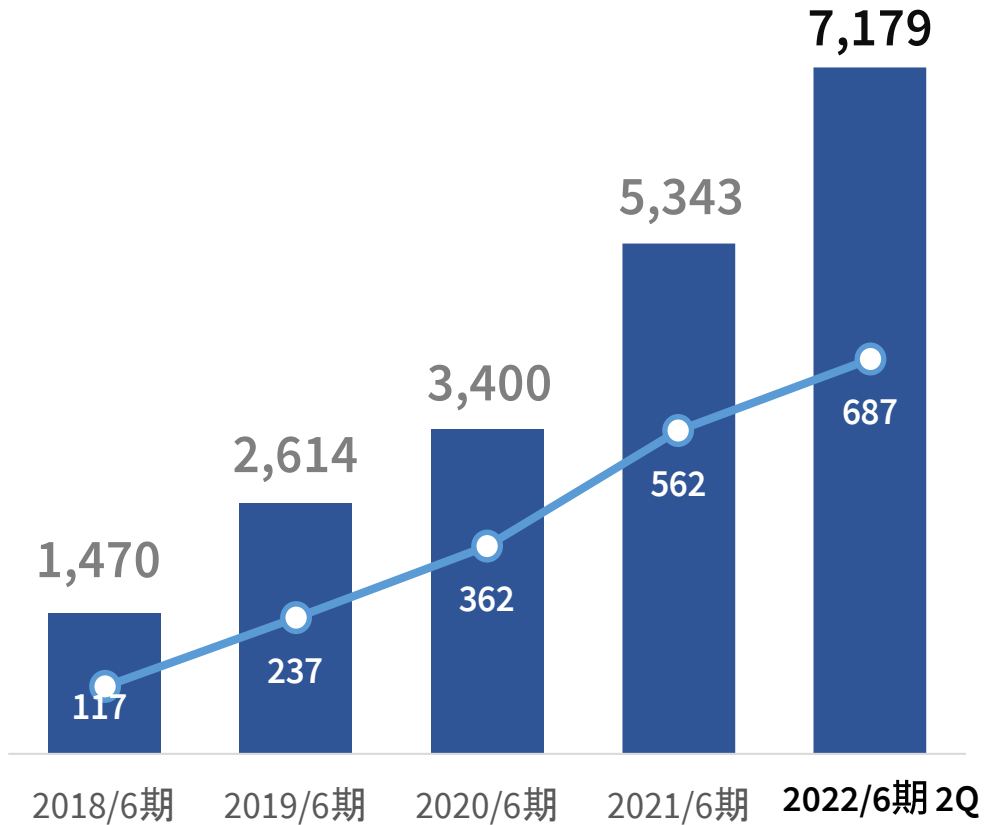


リバースモーゲージ保証残高・件数推移

百万円

保証残高 **71.7 億円**

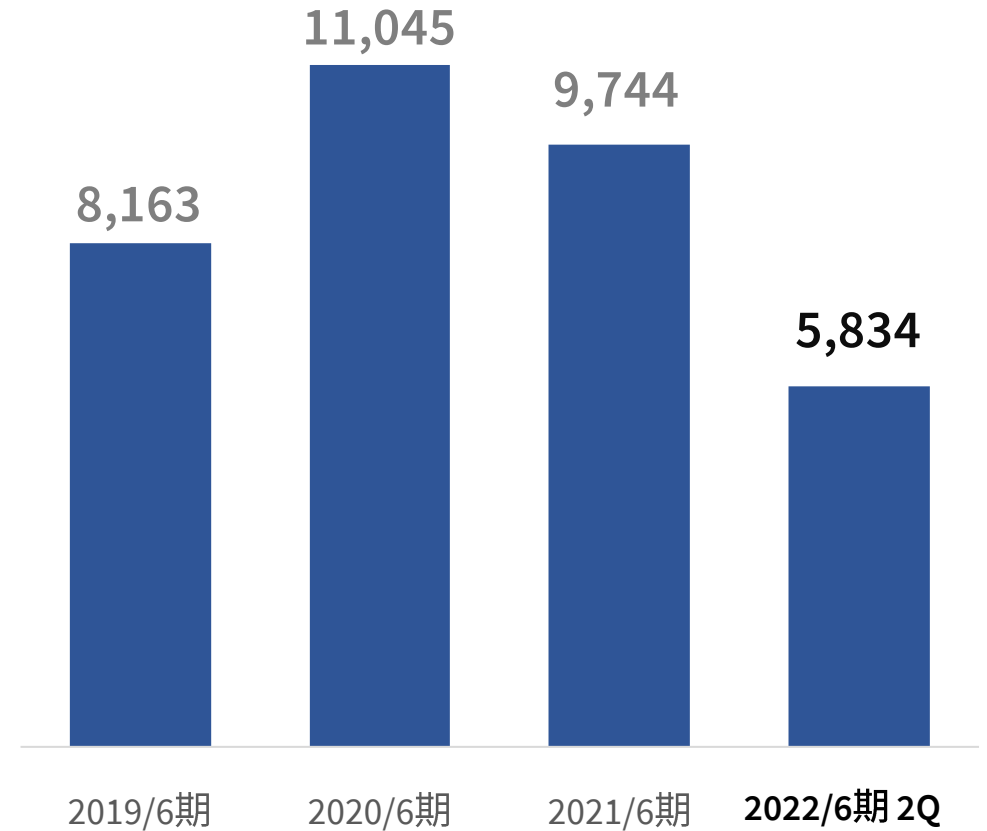
■ 累計保証残高 ○ 保証件数



不動産担保融資残高推移

百万円

不動産担保融資残高 **58.3 億円**



リバースモーゲージ保証事業提携金融機関

(2022年2月10日現在)
31 提携金融機関

※リリース日基準

北陸・甲信越エリア

大光銀行 富山信用金庫

関西エリア

大阪商工信用金庫 滋賀中央信用金庫
大阪信用金庫 但馬銀行
京滋信用組合 長浜信用金庫
湖東信用金庫

中国・四国エリア

愛媛銀行 中国銀行
高知銀行

関東エリア

足立成和信用金庫 芝信用金庫
神奈川銀行 東栄信用金庫
川口信用金庫 東京スター銀行
きらぼし銀行 東京東信用金庫
小松川信用金庫 飯能信用金庫
さわやか信用金庫 楽天銀行

東海エリア

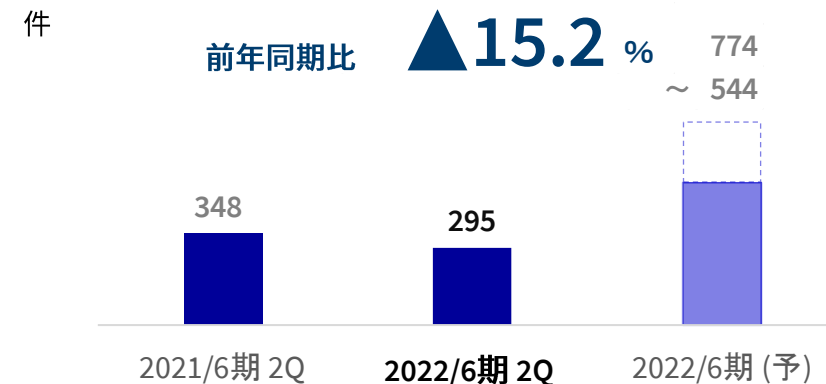
遠州信用金庫 浜松磐田信用金庫
三十三銀行 尾西信用金庫
静岡信用金庫 三島信用金庫
知多信用金庫

※五十音順。エリア区分は本店所在地

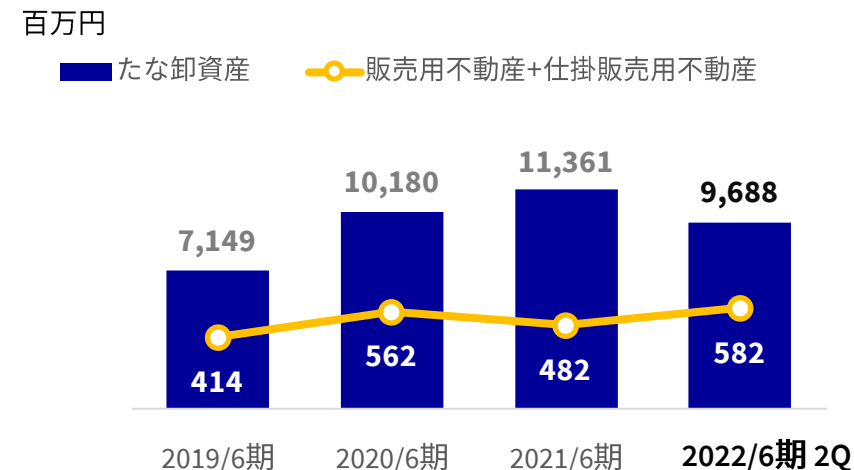
売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	7,033	10,934	14,929 ~10,936	100.0% ~73.2%
営業利益 (百万円)	525	1,201	1,265 ~861	139.5% ~94.9%
営業利益率 (%)	7.5%	11.0%	8.5% ~7.9%	—
取引件数	348	295	774 ~544	54.2% ~38.1%

取引件数の推移



たな卸資産の推移

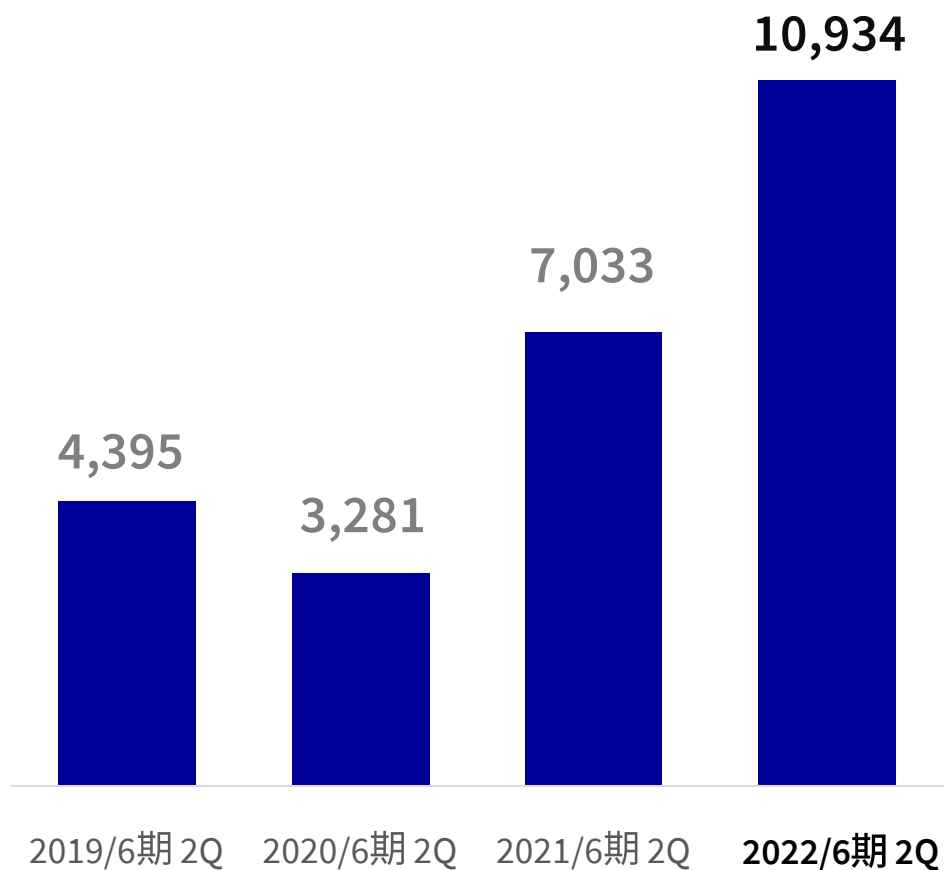


- 商品在庫の販売は好調を維持 営業利益は通期計画上限値に迫る進捗
- 売買仲介直営店との連携により仕入も引き続き順調、在庫は高水準で推移

売上高推移

百万円

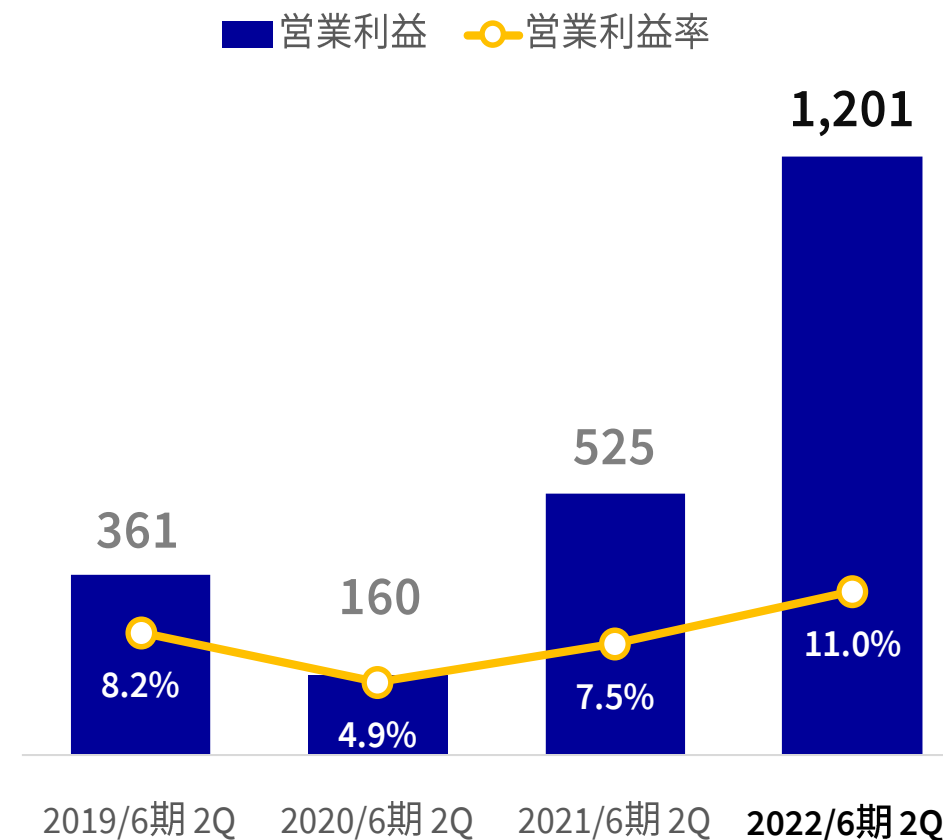
前年同期比 **+ 55.5 %**



営業利益推移

百万円

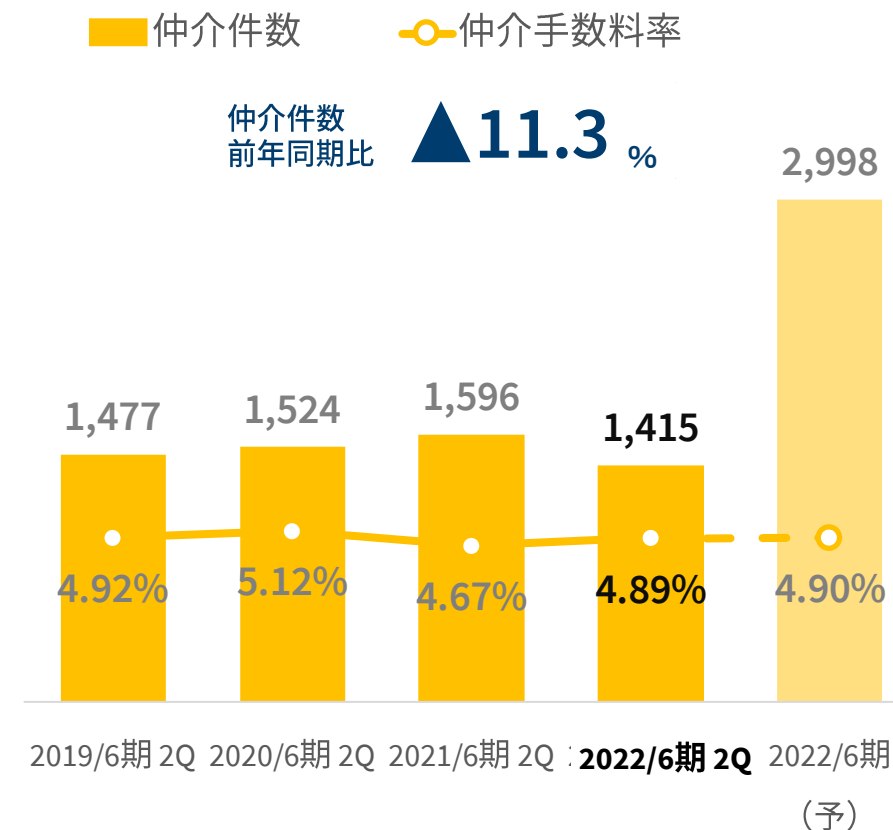
前年同期比 **+ 128.7 %**



売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高（百万円）	1,103	1,154	2,337	49.4%
営業利益（百万円）	244	359	623	57.5%
営業利益率（%）	22.2%	31.1%	26.7%	—
仲介件数	1,596	1,415	2,998	47.2%
仲介手数料率	4.67%	4.89%	4.90%	—

仲介件数・手数料率の推移

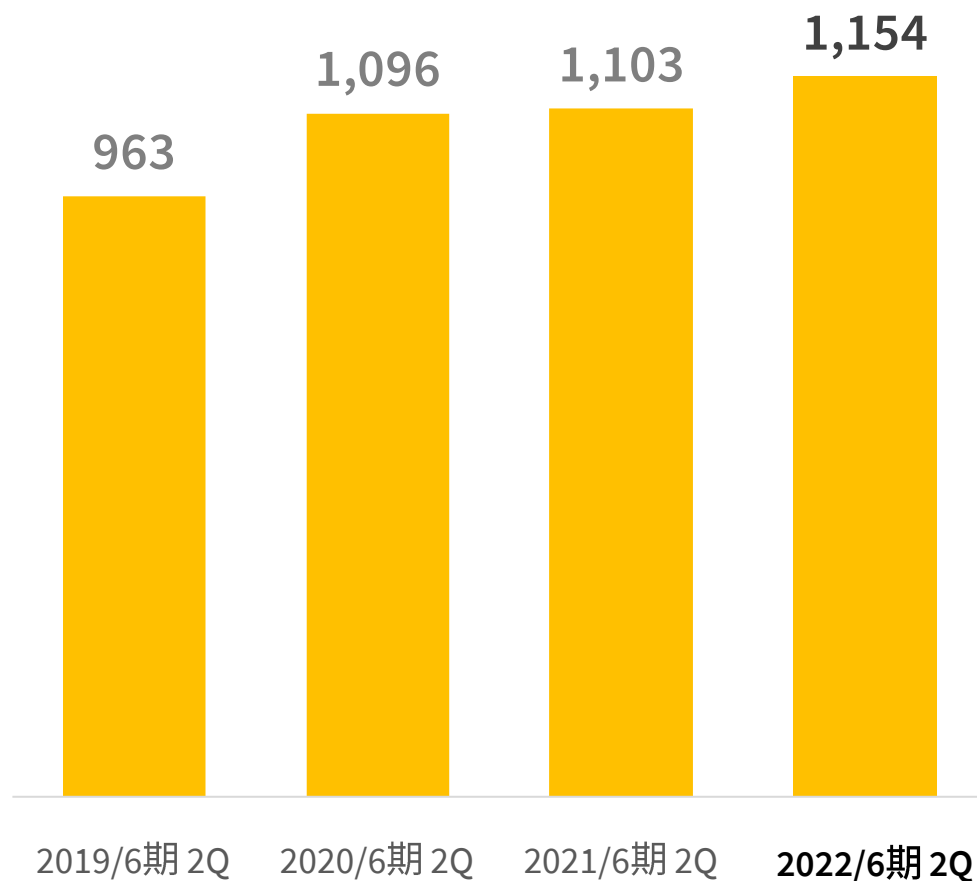


- 成長強化事業へ人員シフトし、生産性の高い店舗へ集約したことにより、利益率が向上
- 各事業セグメントとのシナジーを効かせ、グループ業績向上への貢献に注力

■ 売上高推移

百万円

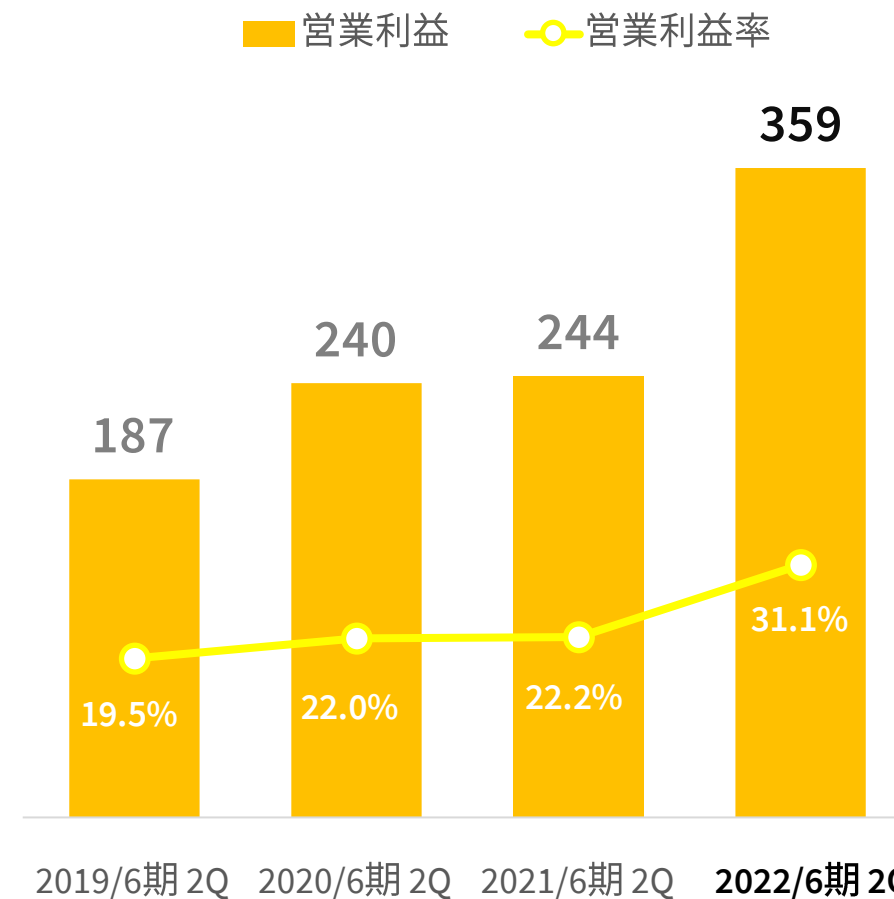
前年同期比 **+ 4.6 %**



■ 営業利益推移

百万円

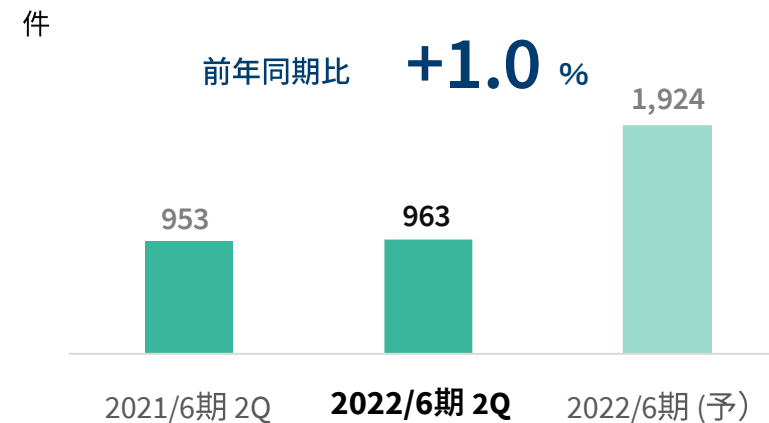
前年同期比 **+ 46.8 %**



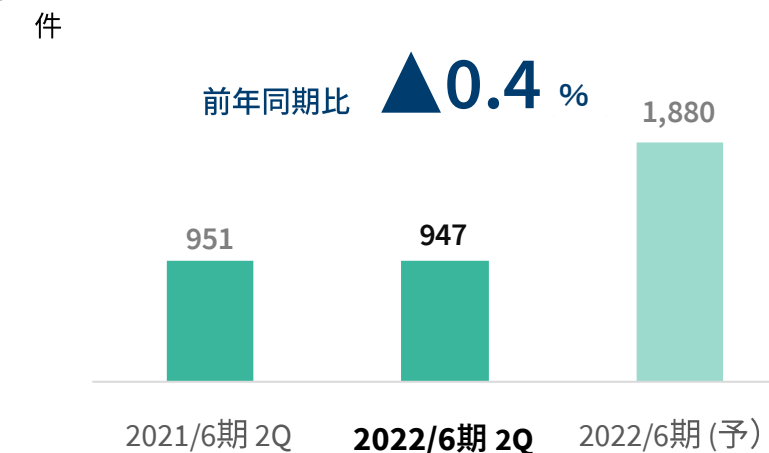
売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	1,399	1,352	2,972	45.5%
営業利益 (百万円)	92	93	236	39.4%
営業利益率 (%)	6.6%	6.9%	7.9%	—
リフォーム契約件数	953	963	1,924	50.1%
リフォーム引渡件数	951	947	1,880	50.4%

リフォーム契約件数の推移



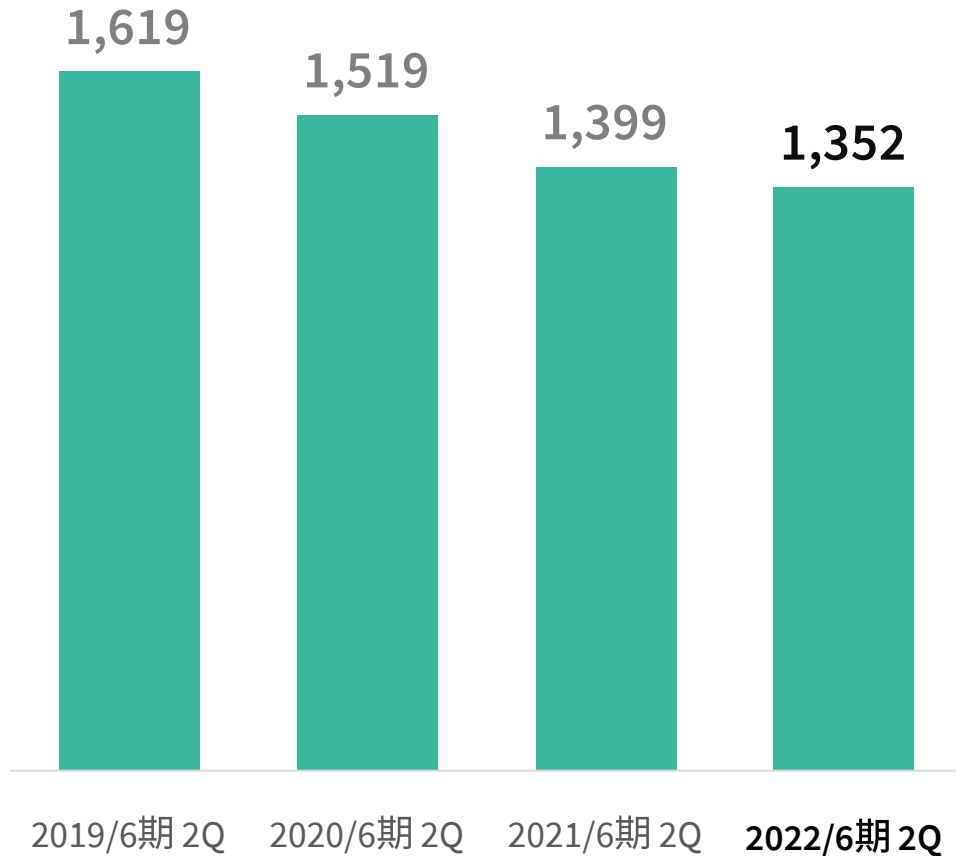
リフォーム引渡件数の推移



- 新型コロナウイルス感染症拡大状況による顧客動向の波が受注及び引渡に影響
- 仲介部門との連携による中古＋リフォームをはじめ、生産性・収益向上を図る

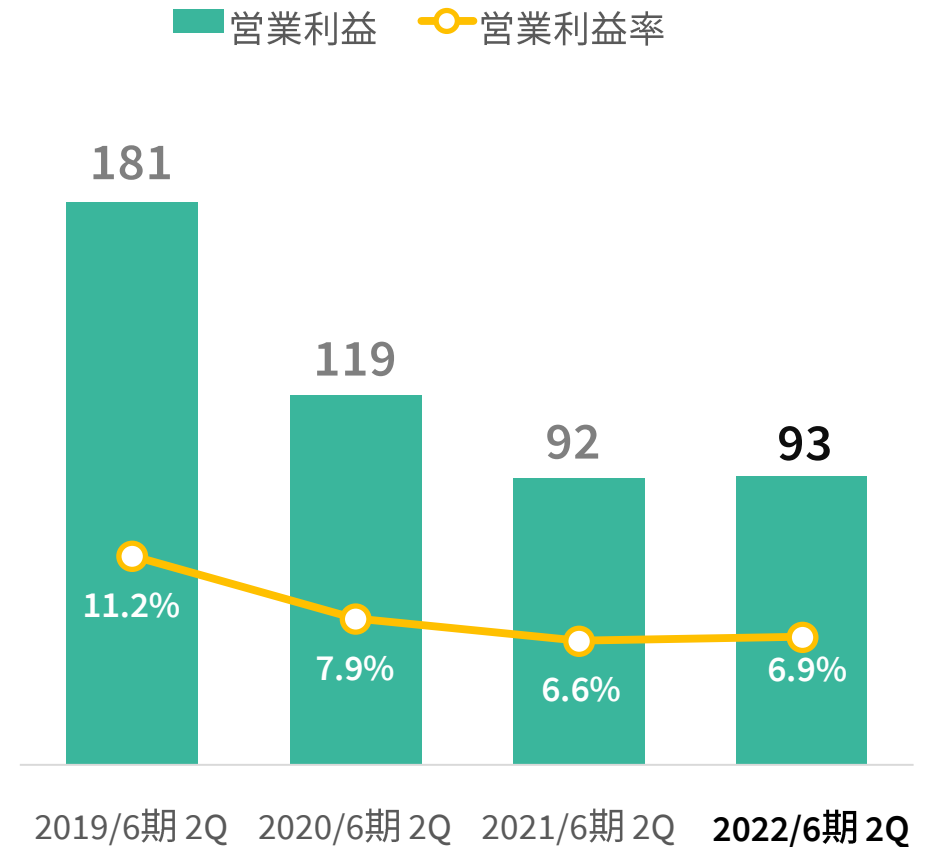
売上高推移 百万円

前年同期比 ▲ **3.3** %



営業利益推移 百万円

前年同期比 **+0.1** %

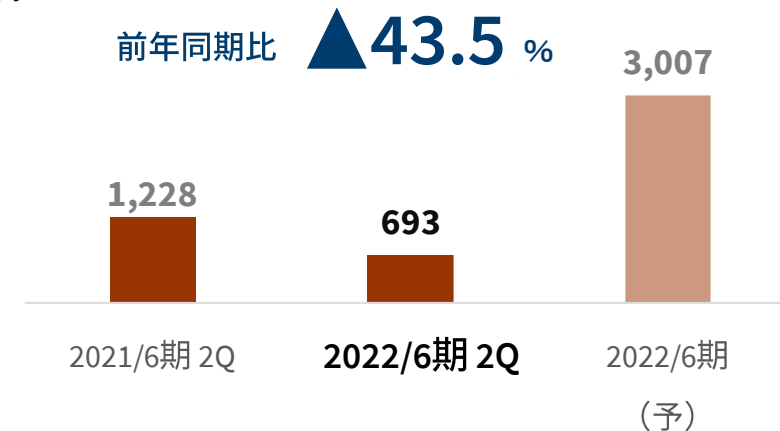


売上高・営業利益推移

	2021/6期 2Q	2022/6期 2Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	1,228	693	3,007	23.1%
営業利益 (百万円)	131	▲ 32	189	—
営業利益率 (%)	10.7%	—	6.3%	—
管理戸数	5,868	5,770	5,900	—

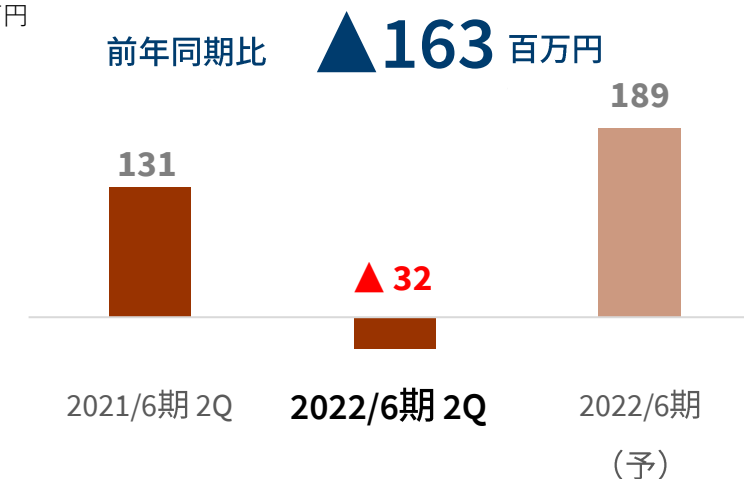
売上高推移

百万円



営業利益推移

百万円



■地域密着の強みとグループシナジー強化を図るべく、組織再編→第3四半期より事業セグメント変更

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)

	2021/6期 2Q		2022/6期 2Q		対前年 増減率
	売上 対比	売上 対比	売上 対比	売上 対比	
販売費及び 一般管理費	5,080	27.1%	5,382	24.1%	+ 6.0%
人件費	2,335	12.5%	2,363	10.6%	+ 1.2%
広告宣伝費	854	4.6%	868	3.9%	+ 1.7%
事務所維持費	199	1.1%	210	0.9%	+ 5.8%
その他販売管理費	1,691	9.0%	1,939	8.7%	+ 14.7%
(売上総利益)	6,321	33.7%	7,174	32.2%	

■売上高販管費率 前年同期 27.1% → 24.1%に低下

■成長投資は継続するも全体での販管費をコントロール 収益性の高い事業へ経営資源を投下

連結貸借対照表

(百万円)

	2021/6期	2022/6期 2Q	増減
流動資産	39,271	34,643	▲ 4,627
現金及び預金	16,819	17,073	+ 253
たな卸資産	11,617	10,164	▲ 1,452
その他	10,834	7,406	▲ 3,427
固定資産	18,035	24,548	+ 6,513
有形固定資産	13,741	19,369	+ 5,627
無形固定資産	990	1,230	+ 239
投資その他の資産	3,302	3,948	+ 646
資産合計	57,306	59,192	+ 1,886

- たな卸資産の減少は、販売用不動産の売却等によるもの
- 流動資産その他の減少は、営業貸付金の減少等によるもの
- 有形固定資産の増加は、ハウス・リースバック事業の物件取得及び戦略的収益不動産の取得等によるもの

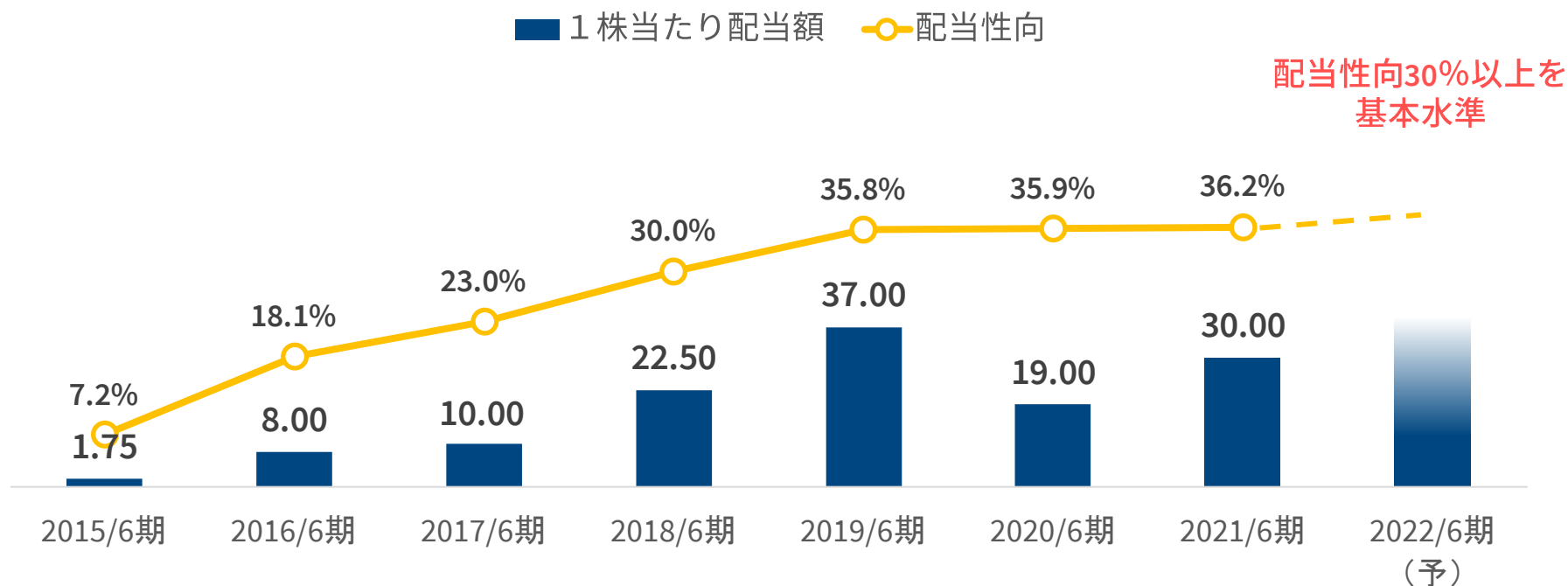
(百万円)

	2021/6期	2022/6期 2Q	増減
負債	44,429	46,146	+ 1,716
流動負債	20,860	20,815	▲ 44
固定負債	23,569	25,330	+ 1,761
純資産	12,877	13,046	+ 169
株主資本	12,876	13,061	+ 185
その他包括利益累計	▲ 41	▲ 54	▲ 13
新株予約権	42	39	▲ 2
負債純資産合計	57,306	59,192	+ 1,886

自己資本比率 22.4% **22.0%**

- 流動負債の減少は、短期借入金の減少等によるもの
- 固定負債の増加は、長期借入金の増加等によるもの
- 株主資本の増加は、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び配当金支払いに伴う減少等によるもの

- 将来の成長投資と内部留保の充実及び株主への利益還元とのバランスを勘案し、配当性向30%以上を基本水準に
- 2022年6月期までは配当と株主優待による還元を実施



※1株当たり配当額は、2015年7月1日付で普通株式1株を5株に、2016年4月1日及び2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

日付	リリース内容
10/18	新市場区分「プライム市場」選択申請に関するお知らせ
10/28	リバースモーゲージの保証事業で中国銀行と提携
12/13	「リバースモーゲージの保証残高70億円」達成のお知らせ
12/14	ハウス・リースバック資産の流動化に関するお知らせ
12/20	サステナビリティ委員会設置に関するお知らせ
12/20	事業セグメント変更に関するお知らせ
12/21	(開示事項の経過) ハウス・リースバック資産の流動化完了のお知らせ
12/24	リバースモーゲージの保証事業で「きらぼし銀行」と提携
12/24	リバースモーゲージの保証事業で三十三銀行と提携

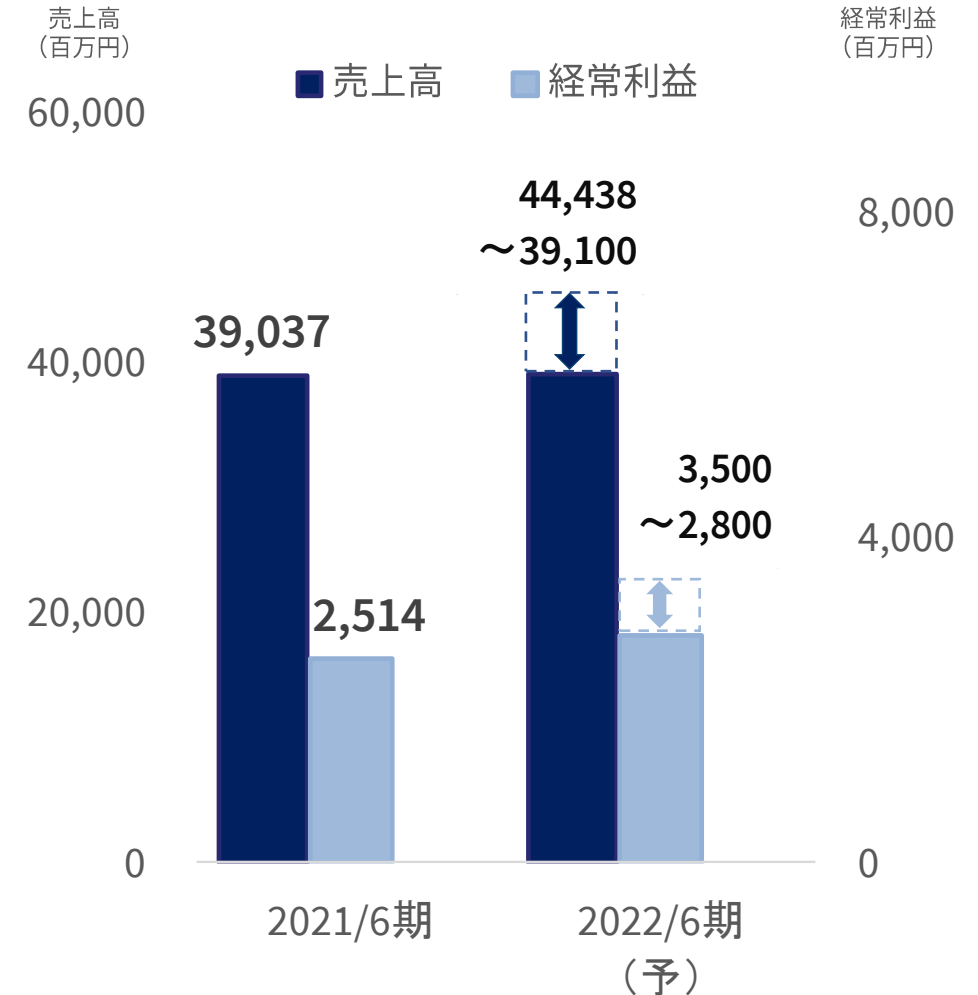
詳細は弊社コーポレートサイト (<https://www.housedo.co.jp/and-do/>) をご覧ください。

1. 会社概要
2. 2022年6月期 第2四半期連結決算概要
3. 2022年6月期 第2四半期セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 **年度計画及び中期計画**

- 成長強化事業の伸長に加え、堅調な住宅需要の下支えにより増収増益を見込む
- 下限値をベースとして、経済活動の改善状況及び各種取り組みの効果を想定し、上限値を設定

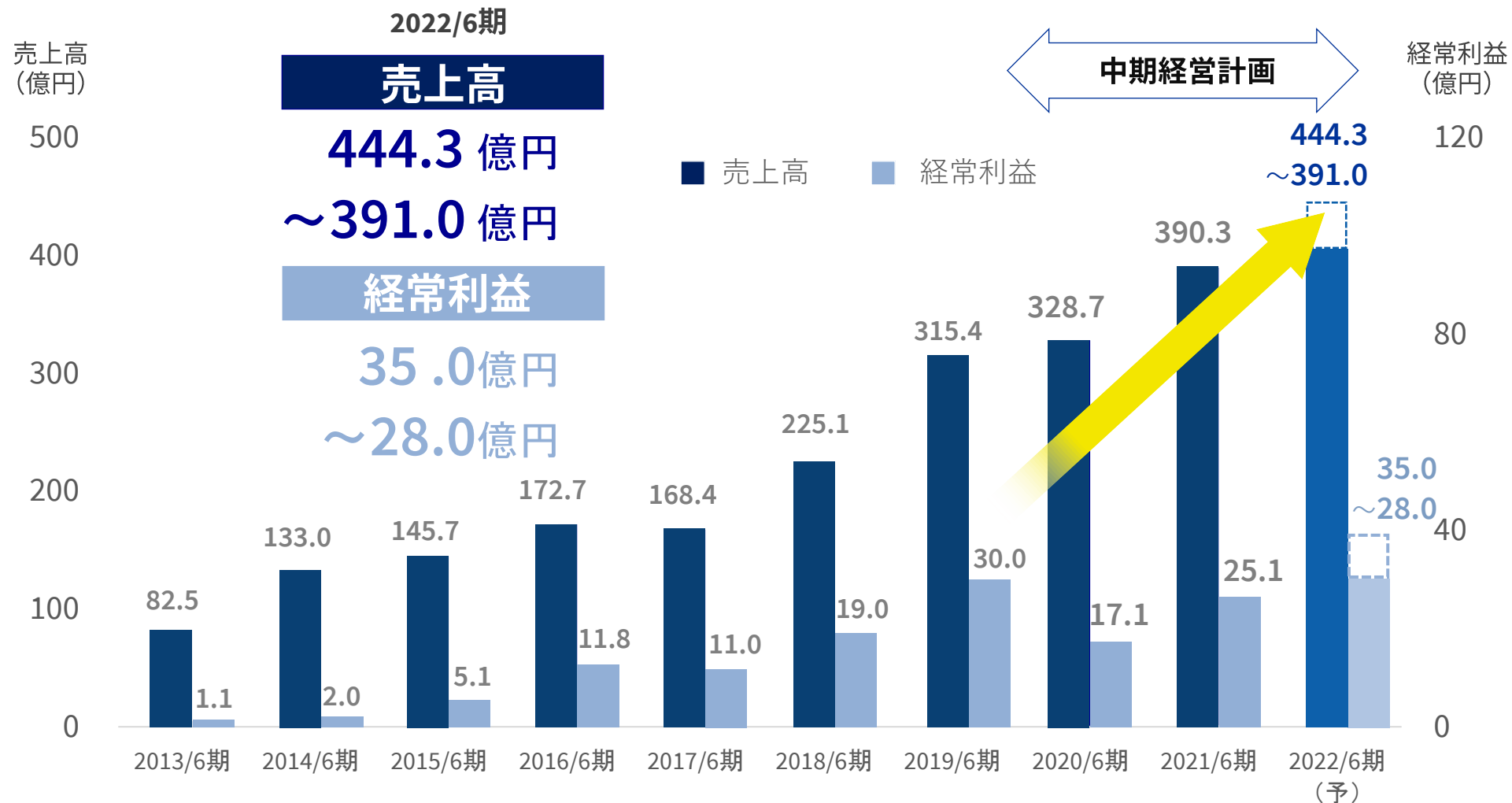
単位（百万円）

	2021/6期 実績	2022/6期 (予)	対前年 増減率
売上高	39,037	44,438 ～ 39,100	+ 13.8% ～ + 0.2%
営業利益	2,589	3,673 ～ 2,973	+ 41.9% ～ + 14.8%
経常利益	2,514	3,500 ～ 2,800	+ 39.2% ～ + 11.4%
純利益	1,616	2,310 ～ 1,848	+ 42.9% ～ + 14.3%
1株当たり 純利益（円）	82.87	118.13 ～ 94.50	—



中期経営計画（～2022年6月期）

■成長強化事業への積極的な投資継続、これまでに培った基盤を活かし持続的成長モデルへ



事業持株会社体制へ移行

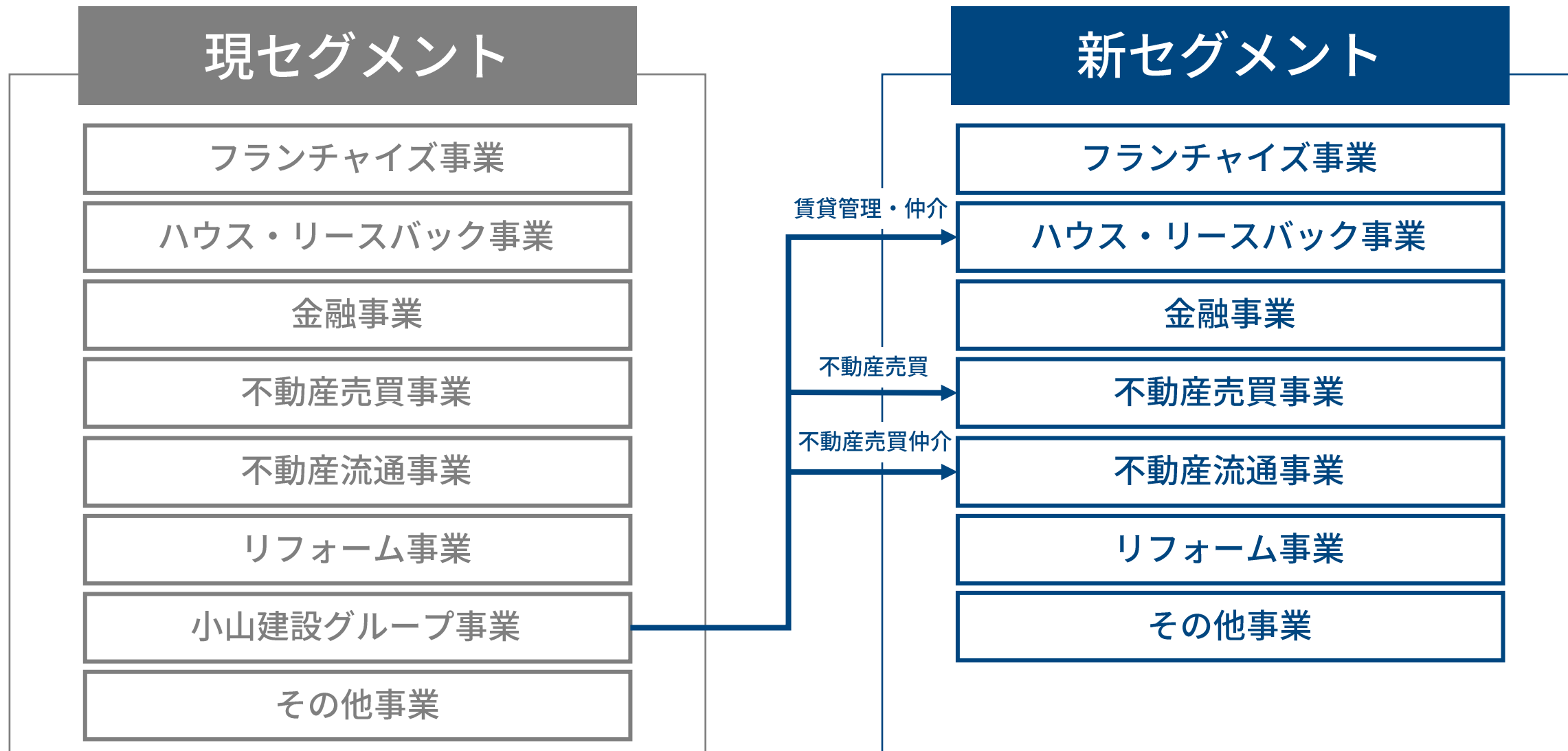
2022年1月1日付で事業持株会社体制への移行及び商号変更が完了

- 住宅以外の不動産ターゲット
- 各若手幹部の成長と責任を持たせる狙い



事業セグメントの変更

■事業持株体制への移行に伴い、事業セグメント区分を変更（2022年6月期第3四半期より）



2022年6月期セグメント別売上高・営業利益（セグメント変更後）

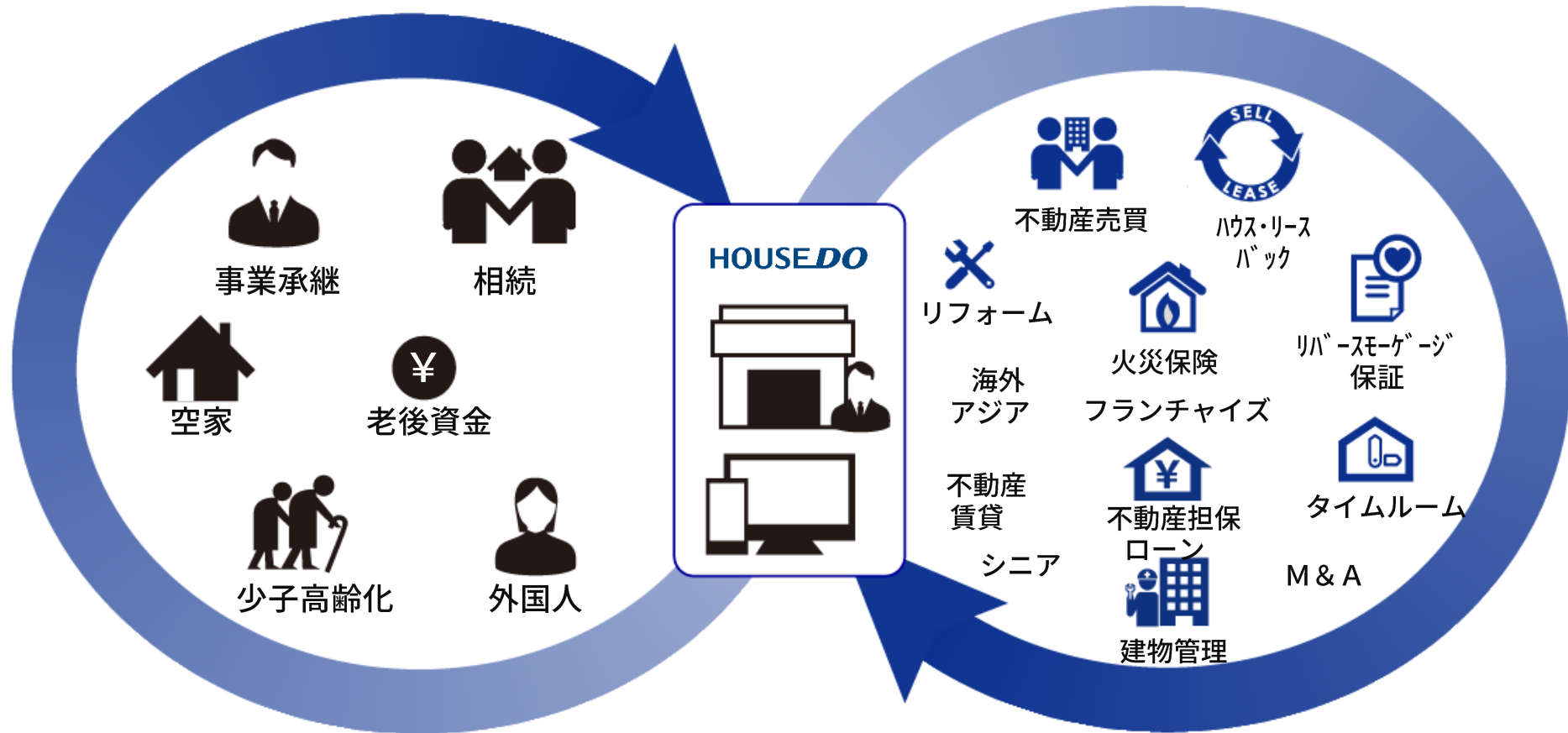
単位（百万円）

セグメント変更

による影響額

	売上高	営業利益	売上高	営業利益
フランチャイズ事業	3,563	2,408	—	—
ハウス・リースバック事業	17,607 ～ 16,321	2,371 ～ 2,136	+ 379	+ 35
金融事業	1,012 ～ 952	160 ～ 100	—	—
不動産売買事業	17,481 ～ 13,488	1,411 ～ 1,007	+ 2,552	+ 146
不動産流通事業	2,417	631	+ 80	+ 7
リフォーム事業	2,972	236	—	—
調整額	▲ 615	▲ 3,546	▲ 5	—
合計	44,438 ～ 39,100	3,673 ～ 2,973	—	—

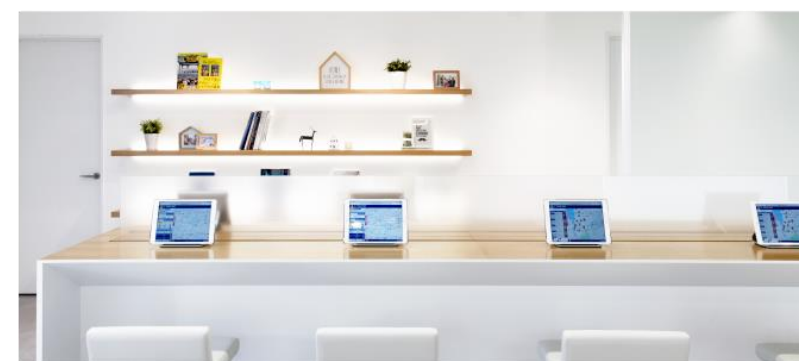
さまざまな社会問題解決をサービス化



ビジネスチャンスに

地域密着の店舗ネットワークとデジタルテクノロジーの融合

リアル店舗で住まいに関するサービスをワンストップでスマートに提供



不動産サービスのオンライン化

デジタルデバイスを活用し、お客様にとって安心・便利なサービスを創出

オンライン内覧



無人オープンハウス



VR 内見



スマート機器・設備を標準装備したIoT住宅「スマートDOホーム」

スマホでくらす家
SMART DO HOME

NEW

家事もセキュリティも、
スマホで簡単操作

- | | | |
|--|--|---|
| 
照明
ON/OFF | 
テレビ
ON/OFF | 
屋外カメラ |
| 
宅配ボックス | 
侵入感知 | 
エアコン
ON/OFF |
| 
施錠確認 | 
お湯はり | 
見守りカメラ |

対応エリア順次拡大中

ライフスタイルに合わせてカスタマイズ



カーテンやシャッターもアプリ・音声で開閉をコントロール



多彩なエンターテインメント



タッチディスプレイで
スマートホーム機器を集中管理



人感センサーでエアコンやテレビの
ON/OFFも可能



全方面にカメラ設置で
セキュリティ万全

不動産に関わる様々な資金調達ニーズに対応



買取パートナー

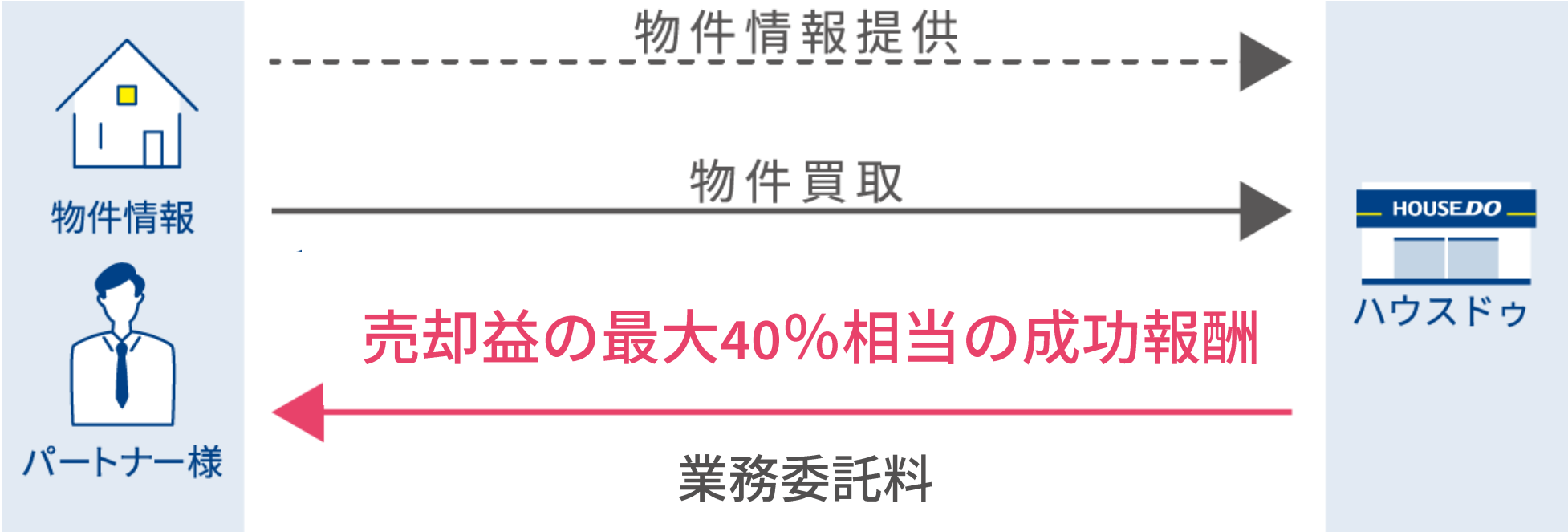
パートナー

ハウズドゥ

情報提供

+

資金



優良な物件情報を活かし、**利益を最大化**

DO BANK構想

AIを利用したオンライン

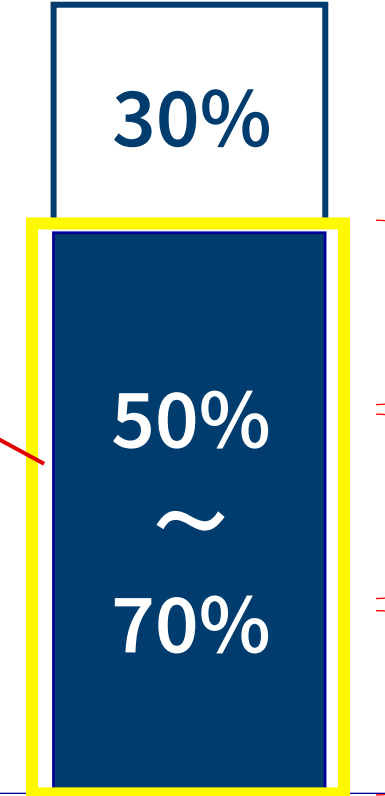
エンドユーザー



スマホアプリ「DO BANK」

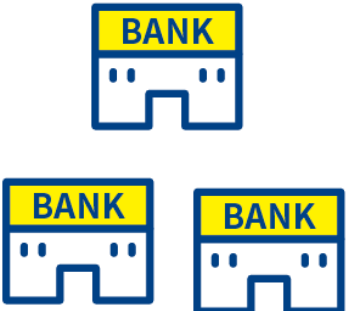
← 融資
返済 →

ハウスク
設定枠
(融資可能額)



物件査定額

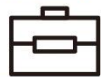
銀行



一般投資家

ハウスの強みを最大限に活かし、業界改革

地域密着の



販売力



査定力



信用力



全国対応



賃貸ビジネス構想



高齢者ビジネス構想



不動産信託構想

アジアの不動産サービスメーカーへ

不動産の活用 = 不動産の流動化

高齢化・貸金業者激減・資金供給不足

資産を活かし ⇒ 資金を供給

日本経済活性化

業界を変える！

— お客様のための業界へ —

国内**1,000**店 アジア**50,000**店へ！

住まいのすべてを、スマートに。

HOUSEDO

—将来見通しに関する注意事項—

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

※前々期以前のセグメント別データにつきましては、セグメント区分見直し前のデータが含まれております。ご注意ください。

■IR情報 <https://www.housedo.co.jp/and-do/ir/>

■IRに関するお問い合わせ Email：housedo-ir@housedo.co.jp TEL：03-5220-7230